

# アセンションと創造主 NO 1

## 地球のアセンションと地球外生命体



地球のアセンションと地球外生命体 目次

- 第1章 「ライトボディ・ヒーリング」と宇宙の仕組み
- 第2章 地球人の起源と地球外生命体の支配
- 第3章 アセンションと創造主達の仕組み
- 第4章 ファラオの復活と闇のエネルギー達
- 第5章 闇の創造主を操る創造主
- 第6章 闇の黒幕「全ての闇を創造する創造主」
- 第7章 2016年 原住民族のスピリットの解放

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI [yume34@k-suai.com](mailto:yume34@k-suai.com)

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

# 第1章「ライトボディ・ヒーリング」と宇宙の仕組み

## PART1 ライトボディ・ヒーリングが生まれた理由

私達は、ここ数年、宇宙の光の活動の中で、神々や女神、天使から様々な光を受け取って様々なアチューメントを創作してきました。

また、「星のツアー」と称して、私達のスピリット体で、マスター達と共に地球以外の星に行き、その星の状況を教えてもらうこともありました。

そして、その星で困っているマスターや女神を助け、星の再生をお手伝いすることもありました。

私達の活動は、天の川銀河全域だけでなくプレアデイス星団、アンドロメダ銀河などにまでその活動は及びました。

しかし、そのような活動を行うにつれて、不思議に思う事がありました。

それは、星々の指導的な立場にいるマスターやさまざまな存在達が自己中心的な考えを持ち行動することで、宇宙の規律を乱しているという事でした。

そしてそのようなマスター達の体には、私達が「ネガティブ・コード」と呼ばれるものをつけられており、そのコードの影響によって自分の本来の意識を失い、誰かのコントロールを受けているのです。

一体誰が、どのような目的でそのようなコントロールを行っているのか、私達は調べていきました。

そうすると、そのコードは、一部のマスターや女神達を通して闇の世界を支配する者達へつながっていることがわかりました。

そして、そのネガティブなコードはスピリチュアルな存在だけでなく、この地球の物理世界に生きる人間達にもたくさんついており、私達の思考や行動をコントロールして私達の本来の資質を失わせ、愛と調和の世界を作る事を妨げていることもわかりました。

私達は、不動明王や高次元の創造主達の力を借りて「ライトボディ・ヒーリング」を作り出しました。

それは、私達人間をコントロールする「ネガティブ・コード」をはずし、他者からのコントロールを防ぎ、自分本来の資質を取り戻すためです。

私達は、ちょうど目隠しをされ、本当に進むべき道も周りの状況も見えないような状態です。

ただ自分のエゴ、支配欲や所有欲、有名になりたいという欲望などに動かされています。

それがかなえられると傲慢になるし、かなえられないと絶望感や自分に対する不信任に襲われます。

私達は、本来自分の心の中に、創造主から与えられた神聖な役割と光を持っています。

そして、地球がアセンションを迎えているこの時代に、自分の目的を果たすためのパワーと能力を与えられています。

しかし、私達につけられているネガティブ・コードは、私達が地球に生きている目的を果たすことがないように、常に大きな障害や試練を与えてきます。

時には、その障害や試練に耐え切れずに、自分自身を見失い、絶望に捕らわれてしまう人もいます。

あるいは、自分が持っている光とエネルギーを奪われ、自分の大切なスピリットの働きを失った人達もいます。

私達は、アセンションを迎え、自分のスピリットの目的に応じて、様々な世界へと歩いていきます。

愛と調和の世界で生きてくことを望む人は、そのような世界を自ら求め歩いていくでしょう。

今までと同じように、支配や欲望が満ち溢れる世界で、自分のスピリットが成長するための学びを行いたい人は、今と同じような地球に残ることでしょう。

もちろん争いや戦争、人を傷つけることを好む人は、そのような人達が集まる世界で存在することになります。

これから起こるアセンションやパラレルワールドは、皆さんのスピリットが望む場所に行く事になるのです。たとえ、自分が光の世界に入りたいと思っても、自分の意識の中で絶えず争いや欲望が満ち溢れていては光の世界に入る事はできません。

しかし、スピリットが光の世界に行くことを求めても、自分の意識や肉体が、スピリットが求めている事とは正反対の行動をとる事もあります。

それは本人の意識というよりも、他の存在達からコントロールされてそのような状態になっている可能性があるのです。

あるいは、その人を傷つけるようなエネルギー、その人の光を奪うようなエネルギー、その人をコントロールするようなエネルギーがその人を操り、その人本来のすばらしさと調和を実現することを妨げていることもよくあります。

そのようなエネルギーに影響されたままですと、スピリットはその本質を発揮することができず、皆さんの日々の生活もベストなものではない状態になります。

本来、私達が進んでいく世界は、スピリットの目的や状況に応じて行くべき世界が決められていきます。

しかし、これらのエネルギーやコードによって、自分が本来求めている世界とは異なる世界へと連れて行かれることもあります。

「ライトボディ・ヒーリング」では、皆さんのスピリットや肉体、人間としての意識から、皆さんにとって不要となったエネルギーやコードを取り外して、皆さんを本来あるべき状態に戻していくためのヒーリングを行います。

このことは、皆さんが今生きている人生を最善なものとし、皆さんが、これから歩む世界をもっとも望ましいものにするためにおこなわれます。

創造主達は、私達が、自分自身の本質に目覚め、愛と光の存在であることに、気づいてほしいと考えています。そして、私達一人一人の人間が、自分自身と宇宙に対する愛と信頼をもって光の世界に入ってくることを望んでいるのです。

アセンションの話の本格的に行う前に、「ライトボディ・ヒーリング」および「デバインライトヒーリング」の進化と宇宙の事についてお話ししていきたいと思えます。

## PART2 ライトボディ・ヒーリングの進化について

### ○第1期 ライトボディ・ヒーリングの始まり

2015年の6月、私達は「宇宙の光」の活動の中で、「ライトボディ・ヒーリング」のアイデアを創造主からいただきました。

その後、「宇宙の光」のメンバーであった美樹さんとチームを組むことで、彼女がコードの存在やヒーリングをうける方の過去生を浮かび上がらせ、私が浄化するというシステムが出来上がりました。

そのことによって私達は、ネガティブ・コードの除去や過去生の解放を行い、スピリットを光に統合するための「ライトボディ・ヒーリング」を一般の方達に行うことができるようになったのです。

ネガティブ・コードとは、スピリチュアルなレベルのエネルギーの事で、相手をコントロールしたり、相手のエネルギーを奪う働きをしますが、このコードをそのままにしておくと物理世界でも様々な問題が出てきます。

私達は、「ライトボディ・ヒーリング」を自分達にたいして行う事により、私達の能力や思考を制限していたたくさんのエネルギーを解き放ち、自らを癒していきました。

そして、自らの能力も高まり、さらに高次元の世界にいる創造主と深く関わる事が出来るようになりました。

そして、今地球で起こっているアセンションや宇宙や創造主達の秘密を深く知ることとなりました。

そして其れに伴って「ライトボディ・ヒーリング」の内容もどんどん深くなっていきまし、  
「ライトボディ・ヒーリング」や「デバインライト・ヒーリング」のセミナーを行う事が、地球のアセンションを推し進めていく大切な働きとなっていったのです。

最初の第1期は、私達人間に、ネガティブなコードを付けてコントロールしていた地球外生命体や闇の世界の存在達のエネルギーを処理し、人間を操っていた存在と切り離すことで、「ライトボディ・ヒーリング」を受けてくださった人達を、彼らのコントロールから自由にすることが出来ました。

そして、人々にネガティブ・コードをつけていたレプテリアンやグレイ種の地球外生命体地震委も、ネガティブ・コードをつけられて操られていたことが分かりました。

私達は、アシュタールのメンバーと協力しながら、彼らからネガティブコードを取り除き、本来の善良な地球外生命体達に戻すこともできました。

この時期の活動によって、人間と地球をコントロールしようとしていた存在達も明らかになり、ライトボディ・ヒーリングをうけてくれた人から、そのような存在の影響を取り除く事ができました。

また、彼らが地球のアセンションを阻止するために、地球の物理的な世界にいちばん近いところで働いていることもわかりました。

この時以来、私達は、アセンションを妨げる多くの地球外生命体達と渡り合う事となったのです。

### ○第2期 闇の勢力と過去生の解放

そして次の第2期では、人間に大きな影響を及ぼしている闇の世界の勢力たちの事がはっきりとわかるようになりました。

その勢力たちは、人間のいくつもの過去生に関わり、人間を闇の勢力の一部として取り込み、コントロールして光を奪い取ることをしていたのです。

私達は、まだ闇の世界には入る事はできませんでしたので、「ライトボディ・ヒーリング」を受けてくださる

方達に、いくつもの過去生をお話しして、闇の世界とつながるコードやエネルギーを浄化していきました。そして重要な過去生を解放することで、その方の偉大なスピリットとの統合やさらに高次のスピリットとの統合をおこなっていきました。

### ○第3期 スピリットの統合

私達に大きな転換点が現れたのは、2015年の8月頃でしょうか、ちょうど「ライトボディ・ヒーリング」を行い始めて2か月くらい経った頃、私達の前にマーベリックとアメリアと呼ばれるマスターが現れました。これからはライトボディ・ヒーリングの第3期となります。彼らは、地球の闇の世界を統括するマスターで、私達のスピリットと深い関わりのあるマスターでした。

また私達は、彼らとスピリットを一つにすることで、闇の世界にも自由に入っていけるようになりました。闇の世界に入って行って、私達が見た事は、皆さんのスピリットの一部が様々な原因で捕らわれ、闇の世界に閉じ込められているという事でした。

実際、私達のスピリットも、いくつもの部分に分けられ、閉じ込められていました。闇の存在は、閉じ込めているスピリットを傷つけることにより、その本体である私達に強力なサイキックアタックを加えてきたり、嫌な過去を思い出させ苦しみを与えることで、私達の精神的へも執拗な攻撃を仕掛けてきました。

私達は、マーベリックとアメリア、そして光の世界を統治する創造主の力を借りて、闇の世界に入り自分たちのスピリットを取り戻したり、同じように捕まえられているスピリット達をたくさん助け出していきました。中には、高次元のマスターや女神達、さらには一部の創造主達のスピリットも閉じ込められ、彼らが地球のアセンションの為の活動や光りの活動を妨げていたのです。

この時期の私達は、「ライトボディ・ヒーリング」を受けてくださる方のスピリットを取り戻し、スピリットの統合を行うという事を行っていました。

### ○創造主との光をつなげるデバインライト・ヒーリング

2015年9月になると新たなヒーリングのシステムである「デバインライト・ヒーリング」が生まれました。これは、私達が「ライトボディ・ヒーリング」を行うときにあたって生まれてきた問題に対する解決策として与えられたヒーリングです。

それは、本来の創造主の光と地球の人々をしっかりとつないでいかなければならないという事でした。その為に高次の創造主のエネルギーを使用する「デバインライト・ヒーリング」のセミナーを各地でおこない、参加者の皆さんと高次元の創造主の光をつなげさせていただきました。

しかしこの「デバインライト・ヒーリング」のセミナーにはもう一つ大きな目的がありました。それは、地球人と深い関わりのある地球外生命体であるナソール人の秘密を解き明かし、地球人に対して行われるナソール人のコントロールや支配から地球人を解放していくことでした。その為に「ライトボディ・ヒーリング」でもナソール人によって仕組まれた「ナソール・コード」の除去を行う事となっていったのです。

## ○第4期 ナソール人からの解放

ライトボディ・ヒーリングの第4期において、この「ナソール・コード」と呼ばれている物は、今まで除去していったコード達の源となっているようなコードです。

なぜならナソール人は、現在の地球人を生み出すために大きな貢献をしたスターピープルの重要な種族の一つでした。

今の地球人には、ナソール人の遺伝子も組み込まれており、私達地球人にとっては海の親のような存在です。しかし、ある理由によってナソール人は光のナソール人と闇のナソール人に分かれました。

闇のナソール人は、自分達が地球人を生み出したことを理由に、地球人は自分たちの家畜のような存在であり、闇のナソール人が地球人を支配し自由に扱うのは当然の権利であると主張します。

光りのナソール人は、そのことに対して地球人をサポートし、闇のナソール人の支配から守ろうとしますが、闇のナソール人の圧倒的なパワーの前に敗北してしまいました。

闇のナソール人は地球人のスピリチュアルな遺伝子の中に、闇のナソール人が地球人をコントロールして利用するためのコードをいくつもはめ込んでいますので、地球人の多くがナソール・コードの影響で、自分本来の思考をすることが出来ず、また能力も限定させられています。

闇のナソール人は、地球を自分たちの意のままにすることで、地球のアセンションを妨げ、闇の多い地球のままにしておこうと考えました。

それは、ナソール人が地球を支配するために必要な事だからです。

闇のナソール人は、彼らのほかにもレプテリアンやグレイ種などの様々な地球外生命体達を操って、地球の物理世界も支配しています。

誰も気づいていないのは、彼らの事は闇の世界に隠され、彼ら自身が表に出てくる事はなかったのですが、私達とアシュタール、そして宇宙警備隊や光の創造主によって、彼らの手先であるレプテリアンやグレイ種が殆ど逮捕され、彼らの正体が明らかにされてしまったのです。

闇のナソール人が作り出した「ナソール・コード」はもっとも強く人間達に影響を及ぼしていますので、この時期の活動は、このコードを除去することを主な内容としています。

## ○第5期 地球のアセンションにむけて光の存在の救出

第5期、私達にとってナソール・コードの除去と地球のアセンションの大きな妨げとなっていたナソール人の処理が、「ライトボディ・ヒーリング」の最終目的だと思っていましたが、地球の支配をもくろむナソール人を光に向かう地球から一掃したところで、新たな問題が出てきました。

それは、最も狡猾な地球外生命体であるナソール人さえも操る黒いゲートの存在でした。

この黒いゲートは、私達が向かう「光の世界」と「闇が残る学びのための地球」を分けるためのゲートでした。このゲートの奥に囚われたスピリットを助け出したいと願ったのですが、私達が黒いゲートをくぐるにはかなりの困難が伴いました。

私達が、この黒いゲートの奥に入ると、もう光の世界には戻れない可能性があったからです。

私達は、その時、私達がかかわれる最高次元の創造主達にも出てきてもらい、この黒いゲートと人間のスピリットをゲートの中に引き寄せる闇の存在達の処理をお願いしました。

しかしその過程で、私達は大変な事実を聞かされました。

それはこの黒いゲートを作っている存在は、光の創造主と対をなす闇の創造主達のグループだったのです。そして、この地球は、もともと光の世界ではなく、光しか知らない存在達を学び育てるために、あえて闇が多い世界を作り、その中に光りの存在を生れさせて学びを行わせるための星だという事でした。

この地球は、初めから光の創造主ではなく闇の創造主によって作られた星でした。

その為に、この地球ではエゴや欲望、争いや支配、抑圧や差別などが満ち溢れているのです。

そしてそれが、当たり前前の地球の姿なのです。

しかし、この地球で多くの事を学び終わった光の存在達は、光の世界に帰っていかなければなりません。

物理的なレベルでもスピリチュアルなレベルでも、地球の大きな引力から解き放たれ、闇のエネルギーをふり落とし、闇から自由にならなければならないのです。

それが地球と私達にとってアセンションの本当の意味なのです。

私達は、地球に生れた光の存在達を救い、地球のアセンションを実現するために「デバインライト・ヒーリング」と「ライトボディ・ヒーリング」を与えられたのです。

## 第2章 地球人の起源と地球外生命体の支配

### PART1 人類を作った地球外生命体達（宇宙人）

私達は、ライトボディ・ヒーリングで地球人をコントロールするために埋めこまれたコードを解除していくうちに、地球人が作られた状況や地球人をコントロールしている地球外生命体達の目的を知ることとなりました。そして、私達が、地球外生命体によるコントロールから自由になるためには、ナソール・コードと呼ばれるものを皆さんの体から外す事が必要であるという事もわかってきました。

このナソール・コードおよびナソール・コードを作り上げた地球外生命体について説明していきたいと思いません。

それはすでに起こりつつある地球のアセンションとも深く関係がありますのでその事も合わせてお話ししましょう。

ただし、私達の活動は地球のすべての次元や人々に関係しているのではなく、現在の争いと抑圧の多い地球（学びのための地球）から、愛と調和の地球（光の地球）に向って行きたいと願っている人とアセンションしていく地球のために行っていますので、自らが、愛と調和の世界に行きたいと望んでいない方に関しては、何の変化も起こってはいない事をご理解ください。

まず私達人類は、この地球において類人猿と呼ばれる種族から徐々に進化してきたといわれていますが、私が受け取った情報によると、その進化のいくつかの時期において、叡智ある地球外生命体達が類人猿もしくは旧人類、そして現世人類のホモ・サピエンスなどに遺伝子の操作を加え人類を進化させていったようです。

おもに地球人の進化に携わったのはアンドロメダ人、プレアディス人、シリウス人、ベガ人そしてナソール人です。

またアンドロメダ銀河やオリオン星雲からも叡智ある存在が派遣され、地球人の進化をサポートしています。

彼らは、お互いに協議を行いながら、地球の人類をどのように進化させていくのか、どのような文明をつかって行くのかという事を議論し、それにふさわしい遺伝子を作り出して人類を進化させていきました。

人間に与えられた遺伝子とは、主にプレアディスやシリウス、ナソールの人達の遺伝子を地球人と融合させていて作られた人工的な遺伝子のようです。

つまり、地球人の原始的な遺伝子に叡智ある地球外生命体たちの優秀な遺伝子を組み込むことで地球人を進化させていったのです。

この遺伝子操作は肉体だけでなく意識レベル、能力レベルにおいても大きな進化を起こして新たな人類を次々と生み出していきました。

そして地球人は単一のパターンではなく、それぞれの地球外生命体達の遺伝子を多彩に組み込んだいくつものパターンが作られたようです。

それぞれのパターンに合わせて、特徴ある人類のスタイルと古代文明が作り上げられていったのです。

特にプレアディス人やシリウス人、ベガ人達は、愛や叡智を元として人類を作りましたので、今でも私達をサ



ポートし、地球人の進化にとって大切な役割を果たしています。

彼らは、地球人を、宇宙の叡智ある存在達の仲間に向えるために、私達を導いているのです。

## PART2 支配を目的とするナソール人と光のナソール人

地球外生命体達の中でも、ナソール人は、地球人の肉体や意識を進化させる事に関して中心的な立場で関わっていたとされます。

ナソール人の遺伝子は、地球人の遺伝子を進化させるにあたって他の種族達よりも多く使用されたと聞いています。

ナソール人はあまり表に出ることはありませんが、彼らは本来、宇宙の創造主から直接生みだされた種族です。彼らの目的は、この宇宙に叡智ある存在を生み出し、創造主の意図のもとに成長し活動するように、管理し支配することです。

それは、人類の成長過程においては、必要な事として考えられましたので、ナソール人は、作り出された地球人のすべてにナソール・コードというものを付けました。

このコードは、本来ならば創造主の意図として人間につけられたものですから、人間の成長や進化を促進するものでなくてはならなかったのですが、地球に降り立ったナソール人は、創造主が求める成長や進化を、自分本位にとらえてしまい、地球人を支配する喜びを覚えてしまったようです。

ナソール人は特定の地球人を選び、その地球人を利用して地上の人類を支配させました。

その為に、地球において様々な支配や抑圧、暴力、差別、搾取が生み出されることになったのです。

ナソール人は、地球人を生み出した存在ですから、地球人にとってみれば、まるで創造主や神の様な存在です。ナソール人は、その立場を利用して、地球人に宗教的な概念を埋め込み、人類を神に従う奴隷のように扱い始めたのです。

私達が知る地球の歴史はいくつもの戦争や暴力的な支配に満ちあふれています。

国家の独裁者に忠実な者はその生命を守られますが、独裁者に反抗的な立場をとる者は虐げられてきました。今の日本は一見、平和なように見えますが、経済的な搾取、女性に対する抑圧も行われていますし、影では原子力発電所の被害が現れ始めています。

日本は、他の国々よりも、精神性が高い人が沢山いるために、ナソール人は、日本人に対してとても強い監視体制をとっており、日本人の精神的自立が損なわれることが時として起こっています。

プレアディス人やシリウス人、そしてアシュタールと呼ばれる地球外生命達達は、それらの地球の様子を懸念して、創造主達と相談してその対策を行ってきました。

創造主にも様々な立場の人がいて、ナソール人を生み出した「支配の創造主」とは異なる考え方でこの宇宙を運営していた創造主達もいます。

それらの創造主は、この地球の支配や暴力的な状況を悲慘に思い、このままでは地球のアセンションは成功しないと考えました。

ナソール人の支配と彼らによって作られた闇の世界が余りにも巨大な力を持ち、地球を光の星にしようとする存在達を、闇の世界の閉じ込めてその力を奪っていったからです。

闇のナソール人は、地球を光の世界に変えようという計画を妨害し、いつまでも闇の力が渦巻く地球にしておきたいのです。

そして、闇に落ちた人類や様々な地球外生命体達（レプテリアン・グレイ等）達の意識をコントロールして自分達の配下につけ、地球をさらなる支配と抑圧へと導いていきました。

その為に、地球をアセンションさせるために地球に送り込まれた存在達、フェアリーやエルフ、天使、女神達もその行方が分からなくなりました。

地球に光をもたらすために地球に生れてきた光の子供達も、地球上で抑圧されいじめや精神的・肉体的な攻撃にさらされ、その光を奪い去られていきました。

そのことを解決するために、一部の創造主達は、地球を支配するナソール人から地球人や光の存在を解放するために光のナソール人を生み出したのです。

そして、光のナソール人とプレアディス人やリラ人は、この地球に TAKESHI とその仲間を生み出し、支配のナソール人から地球人を自由にするための計画を立てました。

### PART3 地球外生命体達によって作られたネガティブ・コード

光のナソール人とその仲間達は、地球の中で光の世界に行くべき人々をナソール人の支配から自由にして、地球のアセンションを成功させるために、TAKESHI 達に様々な知識と真実を見る力、そして新たなヒーリングを授けてくれたのです。

それがナソール人や闇の存在からつけられたコントロールコードをはずし、彼らの支配から皆さんを自由にするためのライトボディ・ヒーリングと皆さんの意識を愛と調和の創造主につなげるためのデバインライト・ヒーリングなのです。

それまで地球外生命体達の働きについて詳しい内容は、ほとんど地球では知られていませんでしたが、私達はライトボディ・ヒーリングを通して様々なことを知るようになりました。

まず私達は、人間の体のいくつかの層の中に、ネガティブ・コードがあるという事を知らされました。

それは、人間同士の感情によって付けられたものもあれば、何かしらのヒーリングやスピリチュアルな活動の中で付いてしまったものもありました。

このコードがあることで、その人に他の存在からのエネルギー的なコントロールが行われ、精神的、肉体的な不調和が起きたり、その人の女性性や生命エネルギーが奪われていくことも分かりました。

私達が、そのコードをたどっていくと、驚いたことに、そこに地球外生命体の姿がありました。

其れもレプテリアンやグレイと呼ばれる存在だけでなく様々な姿形をした存在が、地球人に深く関わっていたのです。

私達はアシュタール連合のエレナさんや物理的な宇宙を創造したエンソフ、そして高次の創造主の助けを借りて、この地球外生命体の正体を明らかにしていきました。

これらの地球外生命体は、本来善良な存在なのですが、誰かにコントロールされて、地球人に良くない影響を与え地球人のエネルギーを奪うようなことをしていましたので、そのコントロールから彼らを解き放つと、彼

らは本来の善良の地球外生命体に戻って行きました。

#### PART4 闇の世界に繋がって行ったネガティブ・コード

私達が、コントロールされていた地球外生命体達の多くを救出することで、彼らが地球人につけていたネガティブ・コードはほとんどが無効となって行きましたが、次にあらわれてきたコードは、人々のさらに奥深い層に埋め込まれたコードでした。

それは、闇の世界の存在から作り出されてきたコードです。

このコードは、人間の過去生の中で、他人を傷つけたり欲望のために闇の存在と繋がった経験を通してつけられたコードです。

この時、私達は、この地球を覆っているとてつもない闇の大きさやそこにごめく多彩な闇の存在に恐れを抱いたものでした。

この闇の世界と私達の世界は、境界のようなもので分けられてはいるものの、闇の世界の存在達は、欲望に囚われた人間達を介して、その力を私達の世界へ伸ばしてきていました。

闇の世界と私達の世界の境界の門番である「カルシファー」によって、私達は闇の存在から守護されながら、闇の世界に繋がっていたコードや闇の存在との契約を次々と処理して行きました。

そうすることで、人類は闇の存在のコントロールから自由になり、望むべき人生が送れるようになるのです。

そして、闇の世界のあまりにも強力な力に自分達の無力さ加減を知らされ、落ち込んでいた私達の前に現れたのが、マーベリックという闇の世界を統括するマスターとアメリアと呼ばれる闇の世界の女神でした。

彼らは、私達に力を貸してくれることとなり、共に力をあわせて闇の世界を立て直すことになりました。

闇の世界は、欲望にかられたまま死んだ人間や恨みや憎しみを持って死んでしまった人間によって、本来の生命を生み出すための創造の世界から、生きている物から生命を奪い取るための暗黒の世界へと変わっていったのです。

そして同じような考えを持つ闇の存在達がいくつものグループを作り、競うようにして活動していました。

私達は、マーベリックとアメリアの力を借りて、闇の世界に入っていくと、光の存在達のスピリットがこの地球の闇の世界に閉じ込められ、光を奪われていた様子を知りました。

中には、偉大なマスターのスピリットさえもこの中に囚われ、そのことに気づかないまま理性を失って活動しているマスター達もいました。

私達は、この闇の状況を解決するために、高次の創造主にこの闇の世界を見てもらい、創造主達が考えていたよりもはるかにひどい状態になっていることを知ってもらいました。

創造主達は、私達にこの闇の世界の立て直しを命じてくれましたので、私達は、光の存在を捕えたり、地球の人達に過度の支配を行うなど、あまりにも行き過ぎた行為をしていた存在達をすべて光に返すことにしました。そうすることで、この闇の世界はどんどん縮小し、闇の存在達が、過度に地球人に対して影響を及ぼさないようになったのです。

これによって、地球のアセンションは大きく進み、光の世界と今までの地球（学びの世界）の分離がさらに行

われることとなります。

ただし、この闇の世界の縮小は、この地球のすべての世界で闇の力が縮小されたという事ではなく、私達が活動している光の世界で闇の世界が縮小されたにすぎません。

私達が存在している光の世界では、さらに光が強くなり、今まで以上に調和と愛のエネルギーに満たされる様になりました。

## PART5 直接姿を現し始めたナソール人とナソール・コード

私達が、これらの活動を進めていくうちに、ついにナソール人達が、私達に直接攻撃を仕掛けてきました。それは、ナソール人の部下であり、ナソール人の代わりに地球を支配させていた地球外生命体や闇の世界の存在達を私達が処理したので、危機感をおぼえたナソール人達が、私達の活動に本格的に介入してきたのです。

それはライトボディ・ヒーリングのセッション中に、サイキックアタックという形で美樹さんを脅かし始めました。

このために時としてセッションを中断しなければならなくなった事もありますし、ひどい時は一時的に意識を失った事もあります。

このことに関して私達が困っている所に現れてくれたのが、ルクソールと呼ばれる光のナソール人です。私達は、ルクソールや光のナソール人たちと協力して、美樹さんが闇のナソール人から守られるように工夫を行ってきました。

そしてその中で非常に衝撃的なことを聞かされたのです。

それが、この文章の冒頭にも書いたように、地球人を支配するナソール人から地球人を解放するために、計画されたのが私達だったのです。

それは、単にナソール人を処理するだけの問題ではなく、そのようなナソール人を作り上げた創造主のあり方さえも見直すための宇宙規模での計画であったようです。

ナソール人はとても優秀で能力も高く、技術力もこの宇宙のなかで飛びぬけて高度な存在です。

しかも、ナソール人は自在に姿を現したり姿を変えたりすることもできます。

また人のスピリットの中に隠れて移動したり、人の思考を操って行動させたりすることができるので、ナソール人を発見することも、ナソール人の活動を制限することも大変困難です。

しかも、彼らの力はスピリチュアルレベルと物理レベルの両方に影響力を及ぼしますので、その力も各段に強く、物理世界に対する影響力をあまり持たない高次の存在では手に負えません。

その為に、この物理世界で力を持つ4大明王、天狗族、天使族そしてドラゴン族たちが私達の守護に加わりました。

そしてライトボディ・ヒーリングやデバインライト・ヒーリングのセミナーで美樹さんがナソール人たちをひきつけ、TAKESHI がスピリチュアル界と物理世界のマスター達を使ってナソール人たちを捕えるという方法を取るようになり、多くのナソール人達やナソール人の基地を見つけて、光に戻すことができました。

特にデバインライト・ヒーリングのセミナーでは、私達がそこに行くことで、多くのナソール人達が集まって

きますので、そこでナソール人たちを一気に捕えることができました。

そしてナソール人がその場所に作っていた拠点を次々と占拠し、光のナソール人たちがその場所を使用できるようになったのです。

その為に、セミナーでは、参加者の力を一つにして祈りを捧げていきます。

デバインライト・セミナーが進み沖縄、東京、福岡のナソール人の拠点が私達に奪われるにつれ、ナソール人が人々をコントロールするために行っていたシステムや計画がいくつも解除されていきました。

其れによって、ナソール人が地球人につけていたナソール・コードの存在を隠すことが不可能となり、その様子が明らかになってきたのです。

このナソール・コードは、非常に精巧に作られ、人間の体の5層にわたって異なる形で付けられているために、とても強力に作用しますし、はずす事もとても困難です。

おもに、自分に対する自己否定や不信感を元として、その人の思考をコントロールすることを行います。

また、ナソール人の思考を受け入れ、彼らのエネルギーに依存するためのシステムも中に入れ込まれていますので、私達が簡単にとることはできません。

その人が、このナソール・コードの事をしっかり理解して、自分にはナソール・コードは不要だと宣言しないと取れない仕組みになっているのです。

また一度とれたとしても、自己否定やナソールが作り上げたエネルギーに依存してしまえば、元のようにナソール・コードはついてしまい、再びナソール人からのコントロールを受けてしまいます。

そして、そのことに気づかないようにビジョンや思考をコントロールしてしまうのです。

また厄介なことに、このナソール・コードを持っている人とエネルギー的に交流することによって、その影響を受けてしまう事も多いのです。

今までのネガティブ・コードは、このナソール・コードの影響によって作られていたものでした。

それらのコードをはずす事により、表面的な影響はかなり少なくなります。根本であるナソール・コードをはずさなければ、最終的な解放にはなりません。

しかもこの人間の肉体と意識の5層までのナソール・コードをはずすには、よっぽどの強い信念が必要です。自分自身が、自らのマスターであり誰のコントロールも受けない、自分は自らのスピリットとともに光の世界に行くのだという信念と行動が必要です。

もちろん5層のコードすべてを取り去ることはできなくても、現実生活に強く影響を及ぼす1~3層のコードに関しては、現在行っているライトボディ・ヒーリングでははずす事は可能です。

皆さんが、このコードやナソール人の支配から自由になりたいと本気で願うならばはずす事はできます。

そして、このコードが外れることによって、私達は自分本来の力とパワーに目覚めてくることでしょう。

デバインライト・ヒーリングのセミナーで皆さんにスピリット・ネームを出していますが、本来の皆さんのスピリットと深く統合されることがなければ、私達は自分自身が本来望んでいる世界に行くことも、アセンションすることもできません。

ナソール・コードを体中に張り付け、ナソール人たちが自由に行き来できるようなゲートが、自分自身のスピリットに開いたままだと、皆さんの波動はあまりにも重いものとなってしまいます。

私達は、このコードをはずす事によって、皆さんを自由にして、自らのスピリットの望む人生を送っていただきたいと思っています。

## PART6 ナソール星との通路を遮断する

2015年10月の名古屋セミナーの前後でまた新たな状況が現れてきました。

それはナソール人によって封印されていた地球の守護者となるドラゴンを助け出したことによるものです。名古屋セミナーの数日前のアチューメントの時に現れてきたのは、ゴールドとレッドの気高いドラゴン（シェンロン）達でした。

彼らは、地球の物理世界に生きる人々や生命を守ることが使命だったのですが、大切な仲間のシェンロン達を、地球人の弱体化を望むナソール人によって封印されてしまったのです。

そして、ナソール人の中でドラゴンを操る能力にたけているグループによって未だ封印されており、その多くが、これからセミナーが行われる名古屋の地下に封じられているとのことでした。

私達は、あらかじめセミナー前に仲間のシェンロン達を救出します。

シルバー・シェンロンの救出はすぐに終わりましたが、ブロンズ・シェンロンは名古屋に向う飛行機の中で解放することとなりました。

そして、彼らに続く5大エレメントのシェンロン達も、名古屋セミナーの間に次々と解放されていきました。これで、ナソール人たちがこの地球の大地と人間に対して行っていたエネルギー的な抑圧もだいぶ少なくなります。

すると、皆さんの体から大変なものが見えてきました。

それは、ナソールの星と地球の人々をつなぐ闇の通路です。

その人の体から、ナソール・コードを通して人々を操っていたコードがしっかりと見えてきたのです。

今までは、闇の世界にコードが入り込むことで、このナソール星へとつながるコードは、カモフラージュされていたのですが、闇の世界がどんどん縮小して、ナソール人をその中に隠す事ができなくなって、この通路も現れてきたようです。

私達が、その通路を登っていくと、地球の外の宇宙空間に繋がり、暗いナソールの星が見えてきました。

ここでは地球の人々をコントロールするような機械類が並ぶ施設があり、そこに多くのコードが繋がられています。

おそらく、地球の中でも政治経済界で重要な立場にある人やスピリチュアリティの高い人、もしくはナソール人にとって危険だとみなされている人達のコードがここに繋がり管理されているようです。

地球の中でも、社会に迎合して生きている人達には、さほど監視の目は厳しくないようですが、きっと、これから光の世界に行こうとする人達に対する監視の目が最も厳しいかもしれません。

このナソール星に繋がるコードは、おもに後頭部や背中から伸びていて、このコードを切断するためには、現在の最高次元の創造主である「分離の創造主」の力が必要とされます。

分離の創造主は、私が持つミカエルの剣に、このコードを切断するための特別な力を与えてくれました。

私達は、このナソール星とのコードを切り離して、ナソール星の支配から自由になることができます。

ただ、自分自身は、これ以上自分を支配するような人とは関わらないのだという強い信念が必要ですね。

そして、私達はさらに、ナソール・コードを取り除いた後に、再びナソール・コードが自分自身につかないようにブロックする方法を探していました。

すると、私達のライトコード・ラボ（遺伝子工学研究所）でそのシステムが開発されていたようです。

ライトコード・ラボもしばらく行かないうちにだいぶ進化したようで、私達の意識とエネルギーを大きく改善するための光とシステムが準備されているようです。

私達は、ナソール・コードをはずした後に、ここで光のコーティングを受け、ナソール・コードや他のネガティブ・コードが付かないように処理してもらえますが、やはりコードが付かないようにするためには自分自身が、しっかりと光の世界に向き合って生きていくしかないようです。

## 第3章 アセンションと創造主達の仕組み

### PART1 私達の前に広がる多様なゲート

私達は、各地域で行われたセミナーや個人に対するライトボディ・ヒーリングで、私達に関わってきているナソール人や地球外生命体たちの多くを光に返し、その拠点となる場所を浄化してきました。

特に北海道セミナーの前には、ナソール人の中心的な存在達も光に返すことが出来たので、私達はナソール人の大きな脅威からは解放されていくこととなりました。

北海道セミナーの時に、新たな地球のいくつかの次元とアセンションの仕組みが見えてきました。

それは、地球のアセンションがどんどん進むにつれて、今のままの地球との分離が更に大きくなってきたことによるものです。

私達には、今の地球よりもさらに光に満ちた世界へのゲートが見えてきたと共に、今のままの地球に残る人たちが歩むべきゲートもみえてきました。

又そのゲートの中には、今の地球よりも更に環境が悪い世界のゲートもあります。

今の地球よりも、さらに多くの争いや殺人、抑圧にみちている世界。人々が傷つけ合い、地球の環境を破壊するような世界も確かに存在しており、これからも存在し続けるでしょう。

それは、そのような世界で、まだ多くの事を学びたいと考えている人々にとって、そのような世界が必要だから存在しているのです。

そのような人にとっては、私達にとって黒く見えたゲートも輝かしい黄金のゲートに見えてきます。

彼らは、そのゲートをくぐり、この世界のなかで必要な事を学びます。

また物質的な豊かさや快樂にみちた世界、物質的な美や愛の世界を求める人たちには、そのような世界を十分に楽しむための世界も用意されているようです。

今の世界で、まだこれらの喜びを得られていない人やそれらの世界に生きる事を望む人は、その世界に入り多くの体験を得て成長することでしょう。

勿論、私達の目の前に広がっているいくつものパラレルワールドの世界は、黒か白かというようにはっきりと決められたものではなく、その人の求める世界が、多様な形でそこに広がっていると考えてもよいでしょう。

それらの世界は、様々な価値観や意識のあり方によって細かく分かれており、そこで生きる人々の考え方や生活のあり方、何をテーマにして生きるかという事も、少しずつ異なった世界がいくつも存在しているのです。

それは、その人がどのような学びを行いたいかによって決められ、存在している世界ですので、どの世界が良くて、どの世界が悪いということはありません。

ただ、そのスピリットが望んだ世界、スピリットにふさわしい世界に行くことが決められているようです。

しかしながら、実際は、その人のスピリットの選択が最重要視されるのですが、その人が行く世界を決めるときに、もう一つの重要な要素がからんできます。

それは何かというと、闇が多い世界を統治する存在からの干渉です。



## PART2 闇のゲートとそこを支配する別の宇宙の創造主

私達が驚いた事は、闇が多いゲートから、多くの存在達が現れ、光の世界に向かう人たちのスピリットを捕えようとしていることでした。

本来、私達が存在する世界は、個人の意思が尊重される世界ですが、闇の世界の住人は、言葉巧みに人々をだまして、依存心を起こさせ、その人が光の世界に向かって歩いていくことを妨害します。

本来、私達が歩むべき道は、その人の現世だけでなく過去性まで含めた人生の総決算によって向かう世界が決定されていきます。

自分の現在と過去の人生すべてを含めて、自分が行くべき道が決まっていくのです。

しかし、この闇のゲートから出てきた存在は、光に向かうと決めた人達までも、何らかの方法でだまして、そのスピリットが本来向かうべき光の世界から、そうでない世界へと連れてこようとしているようです。

私達は、この地球で多くの事を学び終え、光の世界に行くことを望んでいる人達に対して、闇の存在の干渉を排して、その人が望む世界に導いてあげたいと思っています。

しかし、闇のゲートと地球人のスピリットをコントロールしている存在を調べていると、大変な事に気づきました。

それは、このゲートは、私達が存在している宇宙の創造主から作り出されたものではなく、別の宇宙の創造主によって作られたものであることが分かったのです。

私達は、現在、かなり次元が高い創造主の元まで行きついており、この宇宙の秘密をたくさん教えてもらいました。

そして創造主の力を借りる事によって、この宇宙の様々な場所と存在にその力を及ぼす事が可能となりましたが、その黒いゲートの中に入ることは許されませんでした。

それは、闇が深いゲートとその奥にある世界が、私達の宇宙を創造した創造主が作ったものでは無いために、その中に入る事があまりにも危険であったからです。

そのようなゲートを前にして、私達が困っている時に現れてくれたのは、今までの創造主をはるかに超えた力を持つ創造主から生み出されたトート族でした。

トート族は、たとえそれが他の宇宙の創造主によって作られた世界であっても自由に入り込み、その世界を調べることが出来る能力を持っています。

私達は、トート族にお願いする事によって、そのゲートに捕らわれた人達のスピリットを探しだしました。そして、トート族を生み出した「トートの創造者」の力を借りて、捕らわれていたスピリット達を解放してあげることが出来る様になりました。

### PART3 別の宇宙の創造主と地球

しかし、私達が不思議に思ったことは、なぜ私達の宇宙、それも地球に、他の系列の創造主が関わってきているかということでした。

しかも私達の宇宙の創造主は、そのことを知っており認めているようです。

創造主に話を聞いてみると、それは過去の時代に取り決めがあり、物理世界と多次元の通路を持つ地球のみが、特例的に、他の宇宙の創造主が関与する事を認められたそうです。

その理由は、地球をとおして、この宇宙に新たな考え方やエネルギーをもたらす為でした。

しかし、現在、このゲートを統治する存在達が行っていることは、光の存在達をとらえ、それを闇が多い世界に誘い込み光をうばうことでした。

このゲートから現れた存在は、私達にはまるでサタンや黒装束の魔法使いの様に見えています。

彼らは、黒いピラミッドを使って、多くの人々のスピリットをとらえていました。

なかには、まだ2歳にもならない子供のスピリットも捉えられ光を奪われていました。

私達は、その有様を私達の宇宙の創造主に見てもらいました。

私達の宇宙の創造主達は、いつも高い次元に入るので、地球の物理世界で起こっている事が見えないようです。その為に、私達の人間としての視点を使用して地球を見て、地球で何が起きているかを調べているようでした。

地球の黒いゲートとそこから出てきたサタン達を見て、私達の宇宙の創造主も、そのあまりのひどさと闇の深さに驚かれたようです。

黒いゲートの外に出て、罪もないスピリット達を捕えようとしている存在達をゲートの奥底に返し、捕らわれていたスピリット達を解放してくださいました。

しかし問題は、これだけでは終わりませんでした。

別の宇宙の創造主の活動は、地球の中だけに限定するという、約束も破られていたのです。

私が、天の川銀河のマスター達に調べさせると、別の宇宙の創造主達によって作られた彼らの乗り物である黒いピラミッドが、天の川銀河やプレアディス星団の各地で発見され、プレアディスの人達を捕えているという事もわかりました。

これには、私達の宇宙の創造主も困ったようです。

創造主同士で話し合いを行って対策をとる事になったようです。

私達は、ある人のセッションの時に、その人の過去性をさかのぼってアトランティスの初期の時代にまでさかのぼる事になりました。

その時代は、海の中にあった平和なアトランティスに、他の宇宙の創造主が入り込み、アトランティスの人達をコントロールして争いに満ちた世界を作った最初の時でした。

その時、すでにナソール人も、すでに地球人の支配を行っていましたが、そのナソール人さえもコントロールしていたのが、この別の宇宙の創造主達でした。

そして、この創造主達から闇の世界が生まれてきたのです。

私達は、彼らがこの地球に来るときを狙って、彼らの勢力を弱め、大きな影響が出ないように、彼らが作ったゲートに光を送りました。

そのことによって、闇のゲートの存在達は力を弱め、闇の多い世界に行くことを望まない人々を無理やり、黒いゲートの中に引きこむという事は行われなくなったようですが、すでにそのゲートをくぐってしまった人々に関しては、特別な創造主の配慮がなければ、救済する事は出来ないようです。

しかし、彼らの暴挙はまだ終わることをしりませんでした。

私達がセッションを行ったりする中で、いくつもの問題が浮かび上がってきました。

闇の世界の存在達は、いまだ言葉巧みに光の存在達や地球人を捕え、自分たちの世界に引きずりこんでいます。

そのことに失望した創造主達は、この別の世界の創造主と私達の世界を切り離すことにしたようです。

しかし、切り離されるのは、この地球のいくつもの次元のなかでも、闇が少ない世界、愛と調和に生きる事を願う人々の世界だけのようです。

それ以外の世界に生きる事を希望する人々にとっては、様々な支配や物理的な欲望をもたらす彼らの存在は必要なので、そのまま残る事となります。

#### PART4 完全なるすべての世界の創造主と宇宙の真実

私達は、光の創造主達と共に、私達の世界の光の存在達を守るために努力を続けましたが、なかなか思ったように状況が進みません。

私達は思い切って、今までの最高位にある光と闇の創造主に、この状況を改善するための方法を聞くことにしたところ、また大変な事がわかってきました。

それは、私達が直面している別の宇宙の創造主は、実は光の創造主の鏡の様な存在で、光の創造主が力を増すと、彼らも比例して力を増すという事です。

この2つの系列の創造主は、お互いの力が裏表の様な関係にあり、どちらか一方のみ残すことはできないという事です。

そして、私が知る最高レベルの創造主である「光と闇の世界を創造する創造主」でさえも、もう一つの世界には大きく介入できないという事でした。

彼は、光の世界における「光と闇の創造」の最高責任者ではありますが、別の宇宙の創造主が作った闇の世界には介入することはできないという事です。

そこで私達は、この「光と闇の世界を創造する創造主」のさらに上の次元にあり、2つの世界を生み出したとされる創造主をお呼びすることにしました。

出てきてくれた創造主はさらに神々しく大きな輝きを持った創造主です。

私達の光に向かう創造主の世界と同じように学びを求める人々が集う世界の創造主の両方を生み出してくれた創造主で「完全なるすべての世界の創造主」とお呼びすることにしました。

彼は、私達が目指す光が多い世界も様々な問題を経験する学びの世界（闇の世界、鏡の世界）も同じように必要だと言います。

私達が、光が多い世界に行き純粋な愛と共に生きるためには、自分の中にある様々な問題や欲望と向かい合いそれを解決する必要があるからだという事です。

そのために、自分を傷つけるような体験や苦しみや悲しみを乗り越えるための試練を人々に与え、そのスピリットを成長させていくのです。

しかし、この「完全なるすべての世界の創造主」が、この地球を見たとき、この地球は創造主が思ったよりも闇の多い地球になっており、光を持った純粋な存在も、それらの存在を守る天使やマスターなどの存在も十分な働きをしていないことがわかりました。

「完全なるすべての世界の創造主」は、このままだと地球において光と闇のバランスが大きく崩れるから、もっと光の創造主に遠慮せずに大きな光を、地球に送るように求めてきました。

「完全なるすべての世界の創造主」が私達に向かって語りかけてきます。

「皆さんが、ようやく私のもとに来たことをうれしく思います

私は光と闇の世界を同時に作る創造主です。

私にとって、この2つの世界は、両方ともが大切な子供のようなものです

この2つの世界は対等でなくてははいけないのです。

2つの世界が交わるようで交わらないような状態を保たなければなりません。

しかし地球のアセンションのために、2つの世界のエネルギーのバランスが崩れ、今まで交わることがない世界が交わり、闇の世界と光の世界が大きく関わってきました。

それは、アセンションを迎えた今だからこそ、起きている事なのです。

闇の存在達は、今まで見たこともない光を直接見て、光を求めたいという要求に満ちていました。

光の世界も、自分達を守るために、この闇の世界に向けて対処できる力を持たなければなりません。

創造主である私が、このエネルギーのアンバランスを基に戻す事は簡単ですが、そうするとお互いの世界の創造主にとって学びがなくなります。

光の創造主達はもっと自らの光を放ち、闇のエネルギーを押しつけなければなりません。

自分たちに繋がるスピリットの力を守り、協力して、闇の力を跳ね除けなければならないのです。

そのためには、光の創造主は、光を解き放ちなさい。

この光と闇のエネルギーは同じレベルにありますから、光の創造主達が対処できないという事は絶対にはないのです。

物理世界の闇のエネルギーを対処するためにも、光の創造主がもっと光を解き放てばよい。

今までは、物理世界に行きる存在達の学びのために、物理世界の存在へ、光の創造主の光を送ってはいけないという法則がありましたが、これからは地球の物理世界にも、光の創造主達は影響を及ぼしてもよいことにしましょう。

光の創造主達も、地球の物理次元に直接関わってもよいので、光の存在達をしっかりと守ってください。」

完全なるすべての世界の創造主の話が終ると、私達は、光の創造主達を集め、創造主達を元気づけ団結して働くようお願いしました。

そして、創造主の光を、この地球を照らす太陽の様な光に統合して、闇の多い地球へと解き放っていきます。すると、今まで闇に覆われていた世界が輝き始めます。

その中で暗躍していた存在達も、そのまぶしさの中で逃げ惑っています。

すると驚いたことに、闇に閉ざされた世界に光りが当たると、その中に光の創造主達のスピリットの一部が隠されていたことがわかりました。

これには、光の創造主達も驚きました。

いくら光の創造主達が、別の宇宙の創造主（闇の創造主）に対抗しようとしても、これでは勝てるはずがありません。

光の創造主達のカさえも、闇の創造主の中でコントロールされていたのです。

光の創造主から使わされた私達のスピリットも、闇の世界の存在に囚われていたとしても不思議ではありません。

光の創造主達は、自らのスピリットの統合を果たすために、闇の世界に囚われていたスピリット達を取り戻しています。

闇の世界の中に、光の創造主のもっとも大切な部分が囚われていたために、創造主の光の中に闇のエネルギーが入りこんできたようです。

そして、全ての光の創造主達の光の中に闇のエネルギーを入れられ、この地球に降りてくる光の中にも、たくさんの闇が混じっていきました。

その様子を見た「完全なるすべての世界の創造主」は、別の宇宙の創造主達の行き過ぎた行動に罰則を与え、光の世界と鏡の世界を分離することにしました。

「完全なるすべての世界の創造主」が、この世界に光を送ると、闇の世界に囚われた光の存在達が目覚め、光の世界に戻っていきました。

沢山のスピリット達が、喜びに光輝きながら、解き放たれ飛び立っていきます。

## PART5 地球はもともと闇の星だった

別の宇宙の創造主達によって作られた闇の世界が、光の創造主達によって解放されていった翌日、私達は、とてもショッキングな話を「完全なるすべての世界の創造主」から聞かされることになりました。

それは、この地球そのものが、光の創造主ではなく、私達が「別の宇宙の創造主」によって作られた星だったという事でした。

つまり、私達が「別の宇宙の創造主」と呼んでいた闇を創造する創造主そのものが、この地球の創造主であり、この地球に光をもたらそうとしている私達こそが、地球にとっては新たな来訪者だったのです。

私達はこのことを知り愕然とすると共に、この地球のありさまを見て納得するところもあります。

「完全なるすべての世界の創造主」は、私にこのように語ります。

「地球はもともと、光の存在達が、光しか知らないと成長できないために、あえて闇に満ちた星を作ったのです。

そしてそこに救いのための光を一筋置くことで、光の存在は、闇の中で一筋の光明を見出し、成長していくことが出来たのです。

地球は、本来闇が支配する星として存在したために、そこに入る存在は、たとえ創造主であったとしても、闇の中に交わり、闇を深く知らなければなりません。

そして、闇を知り、自らのスピリットを鍛え上げた存在だけが、再び光の世界に戻り、光輝くマスターとなるのです。

そして、地球のアセンションというのは、この闇の地球に降りてきた光の存在達が、再び元の世界に戻るための大きなチャンスなのです。

闇の世界に降りて、多くの事を学んだスピリット達が、再び闇のエネルギーを振り落とし、光の存在と戻るために、アセンションは準備されています。」

たとえ光の存在であったとしても、多くの事を学び、自らのエゴを手放し、闇の世界から自らの意志で決別しない事には、光の世界に帰ることはできないようです。

私達は、この闇の星として存在する地球に、多くの事を学びに来ました。

もちろん、この地球にも、私達をサポートして守護してくれるための天使達やマスターもいますが、私達は、多くの学びをおこなうために地球に来ていますので、彼らは、私達がより良い学びを得るために、全ての問題や障害から私達を守ることはしません。

反対に、あえてそのようなことに私達を直面させ、私達のなかに成長のための試練と学びを与えるのです。

しかし「完全なるすべての世界の創造主」は、この地球から新たな光の地球を生み出すための計画を進めています。

つまり、アセンションしていく人々が生まれ育つための地球を生み出そうとしているのです。

まるで、泥の中から美しい蓮が開くように闇に満ちた地球から新しい光の地球が生まれ出ようとしているのです。

今回、私達は、ライトボディヒーリングやセミナーを行う事でいくつもの世界を体験してきました。

そして、闇の存在や地球外生命体達を使ってこの地球と地球に行く人々を支配しようとする創造主達と地球から光の存在達を助け出し、新たな光の地球を作ろうとする創造主達の葛藤やせめぎ合いも見てきました。

その過程の中で、私達は、欲望や支配といった闇のエネルギーに心を奪われ、この地球をさらに混沌とした世界にしてしまった創造主達を戒めてきました。

そして、闇の中に囚われていた多くのスピリットを次々と解放し統合していったのです。

全ては、闇の地球から光の地球を生み出し、光の存在達を、本来あるべき姿に戻していくための計画だったようです。

「完全なるすべての世界の創造主」達による、一大プロジェクトが間もなく完結しようとしています。

## 第4章 ファラオの復活と闇のエネルギー達

### PART1 ファラオの復活とアセンション

今回の東京・茨城セミナーで、私達を最初に待ち構えていたのは、六本木ヒルズで開催されていた「黄金のファラオと大ピラミッド展」のファラオ達でした。

このファラオ展の中で、ファラオたちの彫像の後ろに開いていた様々なゲートとエネルギーを通して、私達は人類の創世の秘密とファラオ達が地球のアセンションのために働いていた様子を知ることとなりました。

本来、地球にはいくつもの過去の文明があります。

その一つ一つの文明が地球外生命体達との関わりの中で、様々な人種を生み育ててきました。

さらにいうならば、シリウスやプレアデイスなどの地球外生命体達が、特別な目的を持って地球に叡智ある人類を生み出し育ててきたのです。

その目的とは、地球の人類が、他の星々の叡智ある存在と共にこの宇宙で活躍するという事です。

そして、学びの星として作られた地球をアセンションさせ、地球の中からいくつもの光の星を生み出すという事でした。

そのために古代エジプトでも、地球外生命体達と人間の遺伝子から生み出されたファラオや神官達は、地球外生命体達と協力して素晴らしいエジプト文明を築き、人類をさらに進化させ、アセンションをおこなうための試みを、幾度となく繰り返しました。

異なる星から来た地球外生命体達は、いくつもの地域や時代に分かれて、自分達の特質を持つ人類を生み出していきました。

本来は、それらの異なる種族の人達は協力して地球を素晴らしい星にする予定でした。

しかし、地球人を指導する立場にある地球外生命体達は、本来純粋で高い叡智に恵まれていた存在だったのですが、地球に降りて活動する中で、少しずつエゴにまみれ自己中心的な存在となっていきました。

そのために、ファラオや地上に降りた地球外生命体達は、自己中心的な支配欲に囚われ、各地で争いや抑圧を繰り返し行いました。

そして、長い戦いと抑圧の時代を過ごす中で、地球外生命体達が、エジプト文明を築いた目的も忘れ去られ、地球はアセンションすることができませんでした。

私達が、ファラオ展に足を踏み入れると、待つてましたと言わんばかりに、ファラオや地球外生命体達が話しかけてきます。

彼らのスピリットは、古代エジプトにおけるアセンションの失敗を深く悲しみ、再び地球がアセンションする時期をずっと待つていたようです。

そしてこの展示会場の中でも、私達は多くの癒しのエネルギーと創造主達の光を封印されていたファラオ達に送りました。

すると、その光によって目覚めたファラオ達は次元の裂け目から次々と降りてきます。

ずらりと並んだファラオたちのパワーに圧倒されそうになります。

ファラオ達は、創造主と共に、自らの復活と地球のアセンションに向けての準備を始めます。

数10名のファラオ達が、大きな円を描いて私達の周りに立ちます。

そして手にそれぞれの杖等を持って祈りの言葉を捧げていきます。

創造主達も、新たな光をその輪の中に満たし、地球と私達に注ぎ込んでいきます。

私達はとてつもないエネルギーで、ふらふらになります。

私と深い関係のあるファラオが私の前に立ち、目覚めたファラオ達が私達と共に、地球のアセンションのために働くことを誓います。

そして、東京セミナー・茨城セミナーの前に、このファラオ達を復活させることが、今回のセミナーにとって大変重要な意味を持つことを伝えてきました。

私は、このファラオ達の復活が、地球のアセンションや私達とどのような関係があるかと尋ねました。

ファラオは、もともとこの地球を光の世界にするために、この地球に生み出された存在です。

しかしながら、エジプト時代は、とても大きな理由によってそのことを実現することができなかったので、長い間この時期を待っていたそうです。

そして私達を中心に、地球のアセンションが準備されてきたこの時期、どうしてもファラオ達にはやらなければならない事があり、この地上に生きる私達のもとに現れ、光をつないできたようです。

## PART2 地球のアセンションを妨害する闇の存在

私達は、ファラオの出現に驚きながらも、そのパワフルな光りに包まれて東京セミナーを迎えました。

私達は、ファラオの力を借りてとてもパワフルに、セミナー参加者たちに光を送ります。

東京セミナーは大きな波乱もなく楽しく過ごせました。

しかし大きな波乱が起きたのは茨城セミナーでした。

私達も、茨城セミナーが決まったころから、茨城セミナーのために準備を始めていました。

特に、今回は、宇宙の光のメンバー以外の方の参加も多く、事前のライトボディ・ヒーリングなどもしっかり行う予定だったのですが、突然、茨城のメンバーに対するライトボディ・ヒーリングを行う事ができなくなってしまいました。

そのために、皆さんのエネルギーをクリアリングしたりゲートを閉じることなく、セミナーに臨まなければなりません。

しかも、皆さんのスピリチュアルネームを出してみると、皆さんのスピリットの働きはとても大きなものばかりで、この地球のアセンションに対しても重要な働きを持つものばかりでした。

そして、多くのファラオ達も、今回のために復活してきました。



私達を導いている創造主やマスター達も、いつもと異なる緊張感をもって茨城セミナーの事を考えているようです。

創造主達は、その時が来るまで、私達が何をすべきか、何が起こるかを明らかにしません。其れを明かしてしまうと、相手側に創造主達の計画がばれてしまい、うまくいかなるからです。

私達がホテルを出て、茨城に向かう時から、創造主達は、このセミナーの重要性を伝えてきます。それはこの茨城セミナーで起こる事は、地球のアセンションにとって必要不可欠の事であるという事でした

しかも、セミナー当日も、特急列車の出発ホームを間違わせるなど、セミナーを行わせたくないという闇のエネルギーがすでに動いていました

美樹さんも、電車が日立に近づくにつれ、そこに渦巻いている怒りや抑圧のエネルギーを感じ始めました。私達は、電車の中から、その日セミナーが行われる、茨城や日立の町の浄化を始めました。

セミナーは、問題なく進んでいきましたが、最後の相互ヒーリングの時に大きな波乱が起きました。それは、参加者の一人が持っていたあるヒーリングのゲートを通して、大きな闇の力が私達に対して動き始めたのです。

美樹さんの意識に大きな力が無理やり入り込んでいきます。

彼女は、自分の意識を攻撃しコントロールしようとする闇の存在に気付くと、創造主達の指示により相互ヒーリング中止してすぐにセミナー会場の外に出ていきます。

セミナー会場である日立シビックセンターの前は、とても明るい広場になっており、そこに復活したファラオ達と光の創造主達が待ち構えています。

私のスピリットの一部であるルクソールも大型母船で待機して、すぐに美樹さんを宇宙船の中に入れ、闇の存在によって傷つけられた脳神経の修正をおこなっています。

そして彼らは、美樹さんの意識をコントロールしようとする存在達を捕まえていきました。

### PART3 闇の世界さえも混乱させるファントムの逮捕

そのエネルギーは、今までに経験したこともない大きなエネルギーでした。

様々なヒーリングのゲートや欲のゲートを通して、はるか昔から人類をコントロールして支配してきた危険な存在だったようです。

そしてファラオ達の時代にも、このエネルギーは存在し、ファラオ達と善良な地球外生命体達を操って闇の世界に引きずり込み、エジプトを数々の争いに巻き込んでいったようです。

ファラオ達は、このエネルギーがある限り、地球は完全なアセンションをおこなうことはできないと言います。それ程までにこのエネルギーは地球人の物理世界と深く関わり、多くの地球人をコントロールしてきたのです。そして、地球がアセンションしていくことを妨げていたのです。

このファントムと呼ばれる存在は、闇の創造主の中でも、とりわけ支配欲が強い創造主によって作られ、創造主達のコントロールも聞かず暴走することで、闇の世界さえも混乱に貶めた存在だという事です。

ファントムは、多くの人類や地球外生命体達に、ありもしない幻想（ファントム）を見せて、様々な感情をおこさせ、その感情を利用することで、人々を支配しコントロールしてきた存在でした。その力は、あまりにも巨大で多くの創造主達もその中に飲み込まれていったほどです。

そのために、光の創造主だけでなく闇の世界の創造主も、このエネルギーを捕まえるために長い間探していたようですが、今までこの存在を捕まえることができませんでした。

しかし、地球のアセンションを目の前にして、この存在を放置しておく、かつてのエジプト時代のように、地球のアセンションを失敗してしまう可能性も大きかったので何としてでも捕まえたかったようです。

このファントムと呼ばれる存在をつかまえるためには、その手先のようにして働いてきたナソール人や闇のゲートの存在達をすべて片付け、ファントムの存在を表に出していかなくてはなりませんでした。

今から考えると、私達は、9月に始まった沖縄セミナーを皮切りに、日本各地でセミナーを行ったり、ライトボディ・ヒーリングを通して、ナソール人と闇のゲートの存在達を片付けてきましたが、それによって、このファントムを捕まえる状況を作り上げていったようです。

多くの手下を失ったことで、このファントムと呼ばれる存在が、私達に直接介入し、美樹さんを攻撃しコントロールしようとしてきたのです。

しかし、光の創造主、闇の世界の創造主、そしてファラオ達も、この時を待っていたのです。ファントムは、光と闇の連合チームによって無事に捕まえることができました。

私達が、急にライトボディ・ヒーリングができなくなったのも、茨城セミナーの参加者のゲートをそのままにしておくことで、この闇の世界の荒くれ者であったファントムを捕まえるために、あえてライトボディ・ヒーリングを中止させたようです。

私達は、東京・茨城セミナーをおこなう事で、地球のアセンションに向けてとても大きな進歩を遂げることができました。

地球がアセンションしていくためには、私達一人一人の人間が不要なエネルギーを取り除き、浄化していかなければなりません。地球自身も地球自身が抱えている負のエネルギーを取り除いていかなければならないのです。

#### PART4 闇の世界の創造主さえも巻き込む闇の3大エネルギー

茨城セミナーに続いて、名古屋でのヒーリング実習が始まりました。

2015年の12月は、東京・茨城に続き翌週は名古屋、さらにその翌週は神戸と毎週のようにセミナーが開催されます。

創造主達にとってすれば、この機会に地球の光と闇の世界を立て直し、地球のアセンションをおこなうための準備を加速したい様子です。

名古屋に入る前から、私達にも大きな緊張感が走ります。

それは、茨城セミナーで捕まえた「ファントム」と同じようなエネルギーをいくつか処理する必要があることを伝えられていたからです。

このエネルギーを捕まえるという作業は、実はとても危険なことなのです。

そのエネルギーと関わるゲートを持つ人を見つけ、そのゲートを開き、私達の物質的な体の中に、そのエネルギーが流れ込んできたところを創造主達が捕まえるのですが、私達の生身の体の中に、とても大きなネガティブなエネルギーを入れるのですから、体に対するリスクはかなり大きなものがありますし、その衝撃は普通の人では耐えられないレベルのものでした。

しかしながら、私達は、地球のアセンションに向けて、その仕事をやり通さなければなりませんし、創造主だけでなく、様々なレベルのマスターや守護者達が一体となって守護に回ってくれています。そのおかげで、彼女に対する多くのリスクを最小のものに抑えながら、私達は大切な仕事をおこなう事ができました。

前回は、「学びの場所としての地球」を生み出してきた闇の世界の創造主の事についてお話ししました。そして、闇の世界の創造主さえも抑えきれない闇のエネルギー「ファントム」を捕まえたこともお知らせしました。

しかし、このファントムと並ぶ闇のエネルギーがまだ残されており、そのエネルギーの処理が名古屋のヒーリング実習の目的の一つでした。

今回幸いなことには、名古屋のヒーリング実習に参加しているメンバーは、アリサさんをはじめ「宇宙の光」の中心メンバー達として活躍しているメンバーも多く、とても気心が知れている仲間達なので、全員で協力しながら、創造主達の目的を果たすことができます。

ヒーリング実習が始まり、最初のシエンロンヒーリングと光のクリアリングのエネルギー伝授が始まると、すぐにこの闇のエネルギーが出てきました。

そして、そのエネルギーの本質は、「人々を統治したいというエネルギー」と「人々を抑圧したいというエネルギー」でした。

この2つのエネルギーと人々に幻想を見せる「ファントム」のエネルギーが、一つになって地球の人類に様々な影響を与え、地球の闇を深くしていたようです。

この闇によって、多くの光ある存在達はその力を奪われ、本来の活動をおこなうことができずでした。

私達は伝授を通して、このエネルギーに深くつながっているメンバーのゲートから、このエネルギーに繋がり、そこに創造主達に光を流していくことで、光と闇の創造主の合同チームがそのエネルギーを処理していきます。闇の世界を創造する創造主にとっても、この強い支配欲や抑圧のエネルギーは、あまりにも行き過ぎた活動を行っていたために、何とか片付けたかったそうです。

闇の世界は、本来光の存在達が、多くの事を学び成長するためにあるのですが、この凶悪な闇の3大エネルギーによって、光の存在が学びを行うどころか、そのスピリットが捕えられてしまいました。

闇の世界の創造主も光の世界の創造主も、自分達の手におえない勢力が生まれてしまったことで、非常に困惑していたのです。

この闇の3大エネルギーを生み出した闇の創造主はすでに捕えられ、闇のエネルギーだけが物理世界に残っていたために、他の創造主達が処理できずに、私達の助けを借りて、これらのエネルギーを処理することができました。

## PART5 ブラック・エンジェル

最初の伝授で、私達が目的としていた「統治と抑圧のエネルギー」を処理することができたので、一安心したのですが、午後から行われた「デバインライト・ヒーリング」の上級クラス向けの新しい伝授をおこなっていた時に、予期せぬ事が起こり始めました。

それは、メンバーひとりひとりの中にある様々なゲートを開いて地球のアセンションの妨げとなっているエネルギーを片付けていっている時でした。

まず、私達が目にしたのは、闇の創造主達によって作られた「スモーキー」と呼ばれる存在でした。

この存在は、私達のスピリットを捕え束縛することで、スピリット本来の活躍をさせないようにするものです。

私達は、このスモーキーを、創造主達に取り除いてもらい仕事を始めます。

するとメンバーの伝授をおこなうたびにいくつもの問題が出てきます。

地球のアセンションだけでなくこの宇宙にとっても重要なクリスタル・パレスやエレメント・パレスも、この闇の影響を受けて機能を停止していましたし、日本のパワースポットとそこに関連付けられているドラゴン達の動きもまだ封じられていました。

そして、地球の光ある存在達が活躍する世界に対する干渉も行われていましたし、地球の未来を形作っていく人達に対して、絶望的な未来を見させることで、ネガティブな意識を持って未来を作らせるように仕向けていたこともわかりました。

ただ、私達が一番驚いたのは、ブラックエンジェルの存在です。

私達も、少しばかり気づいていたのですが、光の天使達の姿を借りた闇の天使達が存在しているのです。

彼らは、表向き大天使達と同じようなことを言いますが、彼らとつながることで、光の世界ではなく、闇が多い学びの世界へとつながってしまい、スピリットの光を奪われてしまうのです。

このブラックエンジェルたちは、闇の創造主から生まれたようです。

初めは、人々に様々な経験をさせるために存在していましたが、統治や支配、ファントムなどの闇のエネルギーを受けることにより、本来の働きとは異なる働きをし始めていました。

セミナーが終了してから、ブラックエンジェルの存在が気になって調べたのですが、やはりメンバーのサードアイに、特殊なレンズとコードが隠されていました。

このレンズとコードによってブラックエンジェルたちの姿は隠され、光の天使の姿として映しだされます。

そしてレンズの中に仕組まれたコードによって、このブラックエンジェルに心酔するように仕向けられるのです。

名古屋でのヒーリング実習では、宇宙の光の中心的なメンバーが集まっているという事で、創造主達も、地球のアセンションに向けて様々な取り組みをおこなったようです。

## 第5章 闇の創造主を操る創造主

### PART1 完全なる愛と浄化の創造主

私達が、名古屋セミナーが終了してからも、さらに地球の闇の創造主が統治する世界の浄化をおこないます。その時どうしても解決できない問題が出てきましたので、私達はさらに上位の創造主に助けを求めました。現在の地球における創造主は、この地球を運営している「闇の創造主の系列」とこの地球を光の世界にアセンションさせようとする「光の創造主の系列」の2つの系列があります。

この地球で主流なのは「闇の創造主の系列」です。

そして、私達は「光の創造主の系列」から生み出され、この地球に光の世界を作るために活動しています。今までは、光の創造主の立場の人間として、闇の創造主達によって作り出されたナソール人や闇の存在達から、光の存在達を守る事をおこなってきましたが、私達の活動がさらに進むにつれ、とても重要なことがわかってきました。

それは、この地球を運営している「闇の創造主の系列」の中でも、創造主としての理念を守らず、自己中心的な思いから、創造主としての活動を逸脱して、この地球を自分の思いのままにしようと考えている創造主が存在していたという事です。

そのために、地球の闇がさらに深まり、光の存在達が地球で学びを終えて光の世界に帰る事や地球をアセンションさせる事を妨げていたという事です。

この事を解決するために、私達は、この地球の「闇の創造主の系列」と「光の創造主の系列」を生み出した2人の創造主と出会いました。

其れが「完全なるすべての世界の創造主」と「完全なるすべての世界の源となる創造主」でした。

この2人の創造主によって、地球は光と闇が共に存在する世界として作られ、2つの系列の創造主達が学び合って成長できるように計画されたのです。

この2人の創造主が、私達に地球の秘密を解き明かした理由は、私達に「闇の創造主の系列」の中で起きている様々な問題を解決してもらうためでした。

創造主は、常に高い次元にいますので、スピリチュアルレベルの事には深く関わられますが、今回のように、地球の物理次元に影響を与える闇のエネルギーに対しては、十分に対処することができないのです。

そのために、私達の物理世界の体を通して、この闇のエネルギーと接触し、創造主の光を闇のエネルギーに送り込むことで、それら进行处理する事が行っているようです。

茨城セミナーの「ファントム（幻想のエネルギー）」、名古屋のヒーリング実習会の「統治のエネルギー」と「抑圧のエネルギー」、さらにはブラックエンジェルなどの存在も、闇の創造主だけでは対処ができなくなっており、その解決を私達に求めてきたのです。

「闇の創造主の系列」と「光の創造主の系列」は、この闇のエネルギーの処理のために、共に連合を作り、協力し合うことが決まりました。

そして、私達の物理的な肉体を通して、それらのエネルギーと接触し、力を合わせて処理していくことを行うようにしたようです。

其れも、私達が、「完全なるすべての世界の創造主」と「完全なるすべての世界の源となる創造主」の光を、この地球にもたすことができるようになったからです。

その中で、さらに私達の守護と浄化をおこなうために、さらなる高次の創造主もサポートに現れてきました。

其れが「完全なる愛と浄化の創造主」です。

この創造主は、私達が度重なる闇のエネルギーと向かい合う中で、傷つき疲労した私達のスピリットと体を癒してくれました。

そうでなければ、セミナーの後にさらにあらわれてきた「束縛のエネルギー」や「絶望のエネルギー」を対処することができなかつたでしょう。

この素晴らしい愛と癒しに満ちた創造主は、数名の深い愛のエネルギーを持つ女神達を従え、憎しみや絶望、怒りのエネルギーを光に調和させていきます。

そうすることで、私達のなかに潜む、絶望や怒りのエネルギーを光に変えていくことができるのです。

そして、この創造主が現れることによって、事態は大きく発展していきました。

## PART2 異なる宇宙の闇の創造主

2015年の12月に行われた神戸セミナーの準備をおこなっていた時、私達は、地球を生みだした闇の創造主達が作り出した様々な問題を処理したことで、地球のアセンションが一気に進むだろうと考えていましたが、私達の前に、新たな障害が立ちはだかりました。

それは、とても邪悪な波動を持つ黒い霧のようなスモークです。

それは、闇の世界のエネルギーの中でも、今までとは比べ物にならないほど重たくパワフルなエネルギーでした。

それは、これらの「闇の創造主の系列」の創造主達にも手に負えない闇のエネルギーの集合体でした。

地球を支配しようとする深い闇の存在達の集合意識と呼んでもよいと思います。

このエネルギーにアクセスすると、私達の体がドンドン冷えて力が失われていきます。

私達は、「完全なる愛と浄化の創造主」にお願いして、私達を守ってもらいながら、闇の集合意識の裏で、このエネルギーと意識を操っている存在を見極めていきます。

2つの系列の創造主達に、この黒い霧のようなスモークに対して光を送ってもらいます。

すると、この黒い霧のようなものが晴れてきて、その中心部には、「闇の創造主の系列」に属する一人の創造主が立っています。

闇の創造主達も、彼を見て驚きの声を上げます。

彼は、「闇の創造主達」のすべてを支配したいと考え、創造主達を深い闇に巻き込んでいった存在です。

闇の世界の創造主達も、彼を捕えようとしていたのですが、うまくいかず大変困っていた様です。

私達は、すぐに「完全なるすべての世界の創造主」と「完全なるすべての世界の源となる創造主」にお願いしてこの創造主を光に戻してもらった事にしました。

光に戻すことで、この創造主が消えてなくなると、闇の世界の創造主達に安心感が広がっていきます。

しかし、この創造主の後ろには、さらに深いゲートが残されており、今まで体験したこともないような恐怖感が広がります。

私達は、「完全なるゲートの創造主」にそのゲートを開いてもらおうと、そこに待っていたのは、インド神話の女神カーリーのようなどとも恐ろしい形相で立ちすくむ存在です。

その名前を問うと、「殺戮の創造主」であると、答えが返ってきました。

「殺戮の創造主」は、「殺戮のエネルギー」をこの地上にもたらず存在です。

多くの戦争や少数民族に対する虐待、無差別殺人などの多くがこの殺戮の創造主のエネルギーによって行われています。

他にもこのゲートの奥には、「人から愛を分離させる創造主」や「恐怖や混乱を引き起こす創造主」などもあります。

私は、あまりにもその様子の残虐性から、本来存在している「闇の創造主達」とはかけ離れた深い恐怖のエネルギーを持っていることが気になります。

闇の創造主のリーダーに聞いてみると、彼らはこの地球に元々生み出された存在ではなく、他の宇宙からこの地球に、特別に作られた通路を使用して来ていた存在のようです。

彼らが来たのは、かなり古い時代の様ですが、彼らが地球に降り立ってからというもの、地球は民族同士や国同士の争いが絶えない星になってしまったそうです。

古代エジプトのファラオ達も、このエネルギーによって、同じ家族や民族の中でも、王権を求めて殺し合うようになり、神聖な地球を守護することができなくなったようです。

そして人々の心には、争いと絶望のエネルギーが広がり、この殺戮の創造主のエネルギーを受け入れるようになってしまったとのことです。

私は、「完全なるすべての世界の創造主」と「完全なるすべての世界の源となる創造主」、「完全なる愛と浄化の創造主」達にもお願いしてこの創造主を光に返そうとお願いしました。

しかし、創造主達が、殺戮の創造主達にいくら光を送っても、彼らを光に変えることができません。

それは、この殺戮の創造主達は、私達が生きている宇宙の中の存在ではなかったからです。

### PART3 完全なる全ての根源の創造主

この強大な創造主達を前にして、今までの創造主では力が及ばない事がわかると、私達は、さらに高次の創造主に、この殺戮の創造主達の処理をお願いすることにしました。

私達は、心をつにして、さらに高次の創造主に現れてくださるようお願いします。

すると、私達の前に、とても厳かな光が広がり、さらなる強力な優しいエネルギーを持った1人の創造主が現れてくださいました。

それは、私達の地球が属している宇宙だけでなく、他のいくつもの宇宙も、一緒に創造してきた創造主です。その名前を「完全なるすべての根源の創造主」と伝えてくれました。この創造主が出てこられた事を、光の世界の創造主も闇の世界の創造主も大変驚いています。創造主の皆さんにとっては、話には聞いたことがある伝説の創造主の様ですが、お会いすることは今までなかったようです。

「完全なるすべての根源の創造主」は、次元の扉を開いて、他の宇宙からやってきた「殺戮の創造主」達を、その次元の扉から外へ放り出してしまいました。ただしこれは、私達が存在する光の世界での出来事ですので、他の世界においては、彼らの役目はまだ残っていますので、この地球には残ることになります。

ただし、もう争いや殺戮はこの地球には必要ではないと考えている人達の世界からは、「殺戮の創造主達」はいなくなることになります。

「完全なるすべての根源の創造主」は、「殺戮の創造主」達の処理が終わると、2つの世界の創造主達に向かって語り始めます。

「皆さんが、私の世界までやってくるのに大変な時間がかかりましたね。私は、光の世界の創造主にも闇の世界の創造主にも、同じように学んでほしくて、他の世界から、「殺戮の創造主」達を迎え入れ、皆さんの宇宙に大変な混乱を引き起こしました。皆さんが、この混乱に対してどのように処理し立ち向かうかという事を見たかったからです。そして、このことを通して皆さんが大きく成長することを期待していたからです。

創造主の中には、この他の宇宙から来た創造主達によって、自分達のエゴを助長させ、中には創造主としてあるまじき行為をする者達も現れました。そのために、この地球や皆さんの宇宙の闇も深まり、多くの光の存在達が傷付き、この地球のアセンションもここまで引き延ばされてきました。

しかし、TAKESHI さんたちにより、ようやくこの宇宙の深い闇が晴れ、私が皆さんに与えた障害も乗り越えつつあります。

確かに、私が考えていたよりもはるかに時間はかかりましたが、皆さんがここまで来れたことがその証です。これからは、2つの世界の創造主達が手を取り合って成長して行ってください。

そして TAKESHI さんたちも本当にご苦労様でした。あなた方によって、私がこの世界に送り込んだ創造主達を捕まえ、この世界を再び光の世界に戻すことができました。まだすべてが終わったわけでは無いのですが、皆さんの働きによって地球はアセンションに向かって大きな進歩を遂げたことは確かです。もうしばらくの辛抱です。どうか頑張ってください。」

私達は、創造主の言葉を聞いて涙があふれてくる思いがしました。私達は、私達を生み出してくれた存在に会う事によって大きな愛を受け取ることができるのです。この偉大なる「完全なるすべての根源の創造主」は、私達のスピリットの源でもあるのです。彼によって仕組まれた創造主の成長のためのプログラムが終了し、地球のアセンションもさらに大きく進みま



した。  
しかし、創造主が、語った言葉、「すべてが終わったわけでは無いのですが、」という言葉が気にかかります。  
神戸セミナーは、地球のアセンションにとって大きなゲートを開く大切なセミナーなのですが、その前にまだ大きな仕事が残っているようです。

#### PART4 情念の女神とアセンションゲート

私達は、神戸セミナーにおいて、神々の扉であるアセンションゲートを開くことになっていましたが、その前にどうしてもやらなければならない事がありました。  
それは、私達を、アセンションする世界から現実世界へと引き留める大きな闇のエネルギーを開放することでした。  
しかし、このエネルギーは生きている人間なら必ず持っているエネルギーであり、簡単には解決できないものです。  
そのエネルギーとは「情念」です。  
特に愛にまつわる情念は、私達人間と深く関わり、私達の人生に大きな影響を与えてきました。

たとえば愛する人を失う時の怒りや恐怖、憎しみや悲しみなども情念のエネルギーの一つです。  
其れが、わが子であれ、妻や夫であれ、私達は愛するものを守りたいと思い、また独占したいと思えます。  
愛する人を失うときの恐怖は、私達の気持ちを大きく揺れ動かして様々な想念を起こさせ考えもよらないような行動をとらせてしまうのです。

たとえば、愛する人を失うくらいならその人を殺してしまいたいとか、愛する子供を偉くさせたいために邪魔となる存在を排斥したい、愛する人を奪われたなら奪った人に復讐をしたい、などと、情念は私達に、様々な感情と行動を起こさせます。  
時として、そのことにより国同士や民族同士の争いさえも起きたりします。  
世界の文明の歴史の中でも、この情念によっておこされた戦争によって、いくつもの文明や国家が滅びてきました。  
宇宙の中には、この情念によって滅びた星達さえも数多くあるようです。

神戸セミナーが始まる頃になると、驚いたことに、大きなアセンションゲートと同時に大きな闇のゲートも開きました。  
私達が、情念の虜となることをやめてアセンションしていくのか、情念の虜となって再び学びの世界に生きていくのか、私達一人一人が決めていく時代が来たようです。  
そのためにも、私達は、情念のエネルギーを操り、人々を情念の虜としている「情念の女神」を捕まえて光に向かう世界から情念のエネルギーを開放していかなければなりません。

宇宙の各地からも、この情念のエネルギーを光に返すために多くの存在やマスター達も集まってきました。  
神戸セミナーで、この情念の女神と呼んでいる存在を、物理次元で捕まえることができれば、そのエネルギーをたどってスピリチュアル次元でも、この女神を捕えることができます。  
そして、情念の女神の本体に何とか行き着ければ、彼女を捕えて、光に向かう地球から情念のエネルギーを取

り除く事ができるのです。

私達は、デバインライトヒーリング・セミナーの中で、一人一人にエネルギーの伝授をおこないながら、この情念の女神に通じる闇のゲートを探します。

ある人から、このゲートが見つかりました。

するととても大きな闇のエネルギーが、私達に流れ込んできます。

私達が、そのエネルギーに繋がると、私達を通して創造主やマスター達が、そのエネルギーを伝えて、情念の女神を探しだし、捕えていくのです。

しかし情念の女神も、この宇宙の中ではとても大きな存在でいくつもの分身を持っています。

創造主達もその見極めをおこないながら、情念の女神をみつけていきますが、なかなかうまくいきません。

最後は、私の魂の奥深くに繋がっている情念の女神のゲートを探しだし、ようやく情念の女神を捕えることができました。

情念の女神が捕えられたことが伝わると、皆さん大忙しです。

この情念のエネルギーによって、私達は地球の物理次元に深く足止めされていました。

大天使や光の存在達も、そのエネルギーの中に巻き込まれてしまい動きが取れなくなることも有ります。

しかし情念のエネルギーが光の世界へと帰っていったおかげで、アセンションを目指す人々がおおきな制限から、解放されることとなります。

神戸のセミナーの時は、本当に大きなエネルギーが動きました。

窓からも、ビルが立ち並ぶ向こうには、とても大きな宇宙船団が来ている様子がうかがえます。

彼らは、今まで地球になじみのある地球外生命体達もいれば、地球がアセンションして波動が高くなることで、初めてこの地球に来た存在達もいます。

彼らは、私達に力強いパワーと祝福のエネルギーを常に送ってくれていました。

そして、私達は、無事に神戸セミナーを終えて、創造主達と約束していた時期を終ることができました。

それは、私達のデバインライト・ヒーリングのセミナーを通して、参加されている人々の抑圧や制限を取り除き、スピリットの偉大な働きに目覚めさせると共に、地球と地球に行き人々に課せられた制限や闇の存在達の干渉を排除して、地球の一部を光の地球としてアセンションさせる事でした。

## 第6章 闇の黒幕「全ての闇を創造する創造主」

### PART1 地球のアセンションに向けて

私達は、神戸セミナーが終了してからも、地球のアセンションの障害となっている存在や別の世界の闇の創造主達をみつけて、アセンションしていく地球から、これらの存在を取り除いていく仕事に携わっていました。このことは現実的な考え方では、理解しがたいことなので、もう一度アセンションや創造主達の仕組みを説明しておきます。

地球のアセンションは、学びのために作られた地球から、光の存在達を救い出すために、地球の一部の次元を闇の多い地球から切り離すことです。

決して今の地球のすべてがアセンションしていくわけではなく、地球の一部のみが次元を上昇させていくのです。

それに伴って、依存心や支配欲などのエゴから脱却していった人達が、新しい光の地球に移り変わるようになります。

物理的な世界では、この変化に気づくことは少ないと思いますが、地球はすでにアセンションを始めており、人々は異なる行き先に向かう電車に乗り込み始めています。

自分達が行く場所は、自らのスピリットが決めています。

もっとお金儲けや贅沢をしたい人はそのような世界に行きますし、成長のための学びを続けたい人は、今とほとんど変わらない世界へと行くこととなります。

しかし、光の世界で仕事をしたい人や光の世界を通して自分達の世界に帰っていきたい人は、アセンション行の列車に乗り込むこととなります。

本来地球は、地球外生命体や天使、フェアリー達が様々な障害をのりこえて自らを成長させるために、あえて地球の物理次元に人間として生きていくための場でした。

彼らは、地球で様々な困難や障害をのりこえ、愛や奉仕を体験し、自らの学びを完成させて、自分達の世界に戻っていく予定でしたが、地球に入り込んだ闇の存在や別の世界の闇の創造主によって、光と記憶を奪われ、自分達が光の存在であることや自分達がやってきた場所に戻らなければならないという事も忘れてしまいました。

本来はこの地球は、地球を運営する闇の創造主とこの地球に光をもたらす光の創造主達が、協力して程よい闇の地球を作り出す予定でした。

しかし、別の宇宙からやってきた闇の創造主達によって作り出された深い闇は、この地球や宇宙を創造した創造主さえもコントロールできないほどのパワフルなエネルギーとなってしまいました。

その為に、どれほど優秀な光の存在を送っても、この地球の闇を浄化し、光の存在達を救い出すことはできなかったのです。

それどころか、優秀な光の存在、マスター達さえも、彼らに囚われ、彼らによって利用されてしまう事となったのです。

この別の宇宙からやってきた闇の創造主達も、地球とこの宇宙を創造し運営する光の創造主達と闇の創造主達に障害を与え成長させるために、最高次元の「完全なる根源の創造主」がこの宇宙にあえて連れてきたのですが、私達の宇宙の創造主達は、太刀打ちができずに、地球とこの宇宙の闇を深めてしまったようです。

別の世界から来た闇の創造主は、学びの世界である地球を運営していた闇の創造主達にエゴや支配欲、情念などのエネルギーを植え付け、創造主としての理性や能力を奪い取って自分達の目的のために操っていました。彼らの目的は果てしない欲望、光の搾取、支配、殺戮などです。

そして、理性を失った闇の創造主によって作られた闇の存在達や地球外生命達が地球に住む人間や地球にやってきた地球外生命体達をコントロールして、地球の物理世界を支配していったのです。

彼らは、善良で光を持った存在をみつけると、そのスピリットを捕え、彼らの光や愛を奪いとってしまいます。私達は、いくつもの次元に様々な闇の存在達によって捕えられた無数のスピリットをみつけ、そのスピリットを開放してきました。

それは、人間だけでなく天使やフェアリー、マスター、そしてこの宇宙を創造し運営している創造主達のスピリットの一部までもが捉えられていたのです。

私達人類だけでなく創造主達までもが、闇の存在にコントロールされ、無意識のうちに様々な欲望を持つようになっていったのです。

もちろん彼らによって創造され運営されていく宇宙にも、支配欲や愛欲などのエネルギーが満ち溢れるようになり、様々な争いや混乱が起こるようになってしまいました。

そして、いくつかの星の物理世界も、この地球と同じように争いが横行して混沌としたものになってしまいました。

私達は、ライトボディー・ヒーリングやデバインライト・ヒーリングのセミナーなどを通して、創造主達と共にこの地球の闇のエネルギーを浄化して行く過程で、そのことを知ることとなりました。

私達が、この地球に降りてきた活動している理由も、地球の物理次元にある私達の体を通して、いくつもの次元に存在する闇のエネルギーや闇の存在、そして闇によって理性を失わされた創造主達を本来あるべき状態に戻していくことでした。

そのことによって、光の地球に生まれ変わる地球の一部も、闇のエネルギーが払拭され、エネルギーが清らかになっていきます。

そして、光の世界で活躍すべき存在達が、闇の囚われから解放され自由に活動できるようになるのです。地球がアセンションしていくためには、地球の人類だけでなく地球外生命達や天使、フェアリーなどの力が必要です。

地球のアセンションは、このように地球のエネルギーが清らかになると共に、アセンションのために働く存在達の力が、ひとつにまとまる事が必要なのです。

そしてもう一つ、地球の一部をアセンションさせることを妨げている存在達を、アセンションしていく地球と次元から切り離していかなければなりません。

彼らは、地球人を抑圧したり支配することが目的でさまざまな事を行ってきます。

彼らの抑圧や支配から逃れなければ、私達のスピリットをアセンションさせることはできないのです。

彼らは、今までの学びの世界では必要でしたが、これからの光の世界は障害となる存在です。

私達の活動の最大の目的は、彼らを見つけ出し、アセンションしていく世界から切り離す事にあります。

地球のアセンションは、いくつもの形で起こります。

それは、アセンションしていく地球の人々も光の存在達も、いくつもの異なるレベルにあるからです。

アセンションしていく地球とは、闇のエネルギーよりも光のエネルギーの量が、すこしでも多くなった世界です。

ですから、光と闇のエネルギーの比率によっていくつもの異なる世界が生まれます。

しかし、現在の地球は、闇のエネルギーが 60%~70%、光のエネルギーが 30%~40%くらいですので、その比率が逆転するようにしなければなりません。

たとえ 1%でも光が多くなると、多数決の理論と一緒に地球は、一気に光の世界へと向かう事になります。

私達は、この地球に少しでも光の分量が大きくなり、人々が開放されて自由になることで、多くの人々がアセンション出来るように努力してきました。

そして神戸セミナー以降、さらに大きな解放へと働きかけることとなりました。

## PART2 物理世界の情念の女神とスピリチュアルな能力を抑制する存在

2015 年も残りわずかとなった時期に、アセンションしていく光の地球では大きな解放が行われることとなっていきました。

神戸セミナーが終わり、私達はいくつもの隠れていた闇の存在達を開放する作業に取り掛かりました。

この地球と人類を取り込んでいる闇のエネルギーを開放することで、地球も人類もエネルギーを軽くして次元上昇を図ることができるからです。

最初に創造主達からお願いされたのは、鹿児島島の桜島の周りにある大きなエネルギーでした。

ここは、桜島と鹿児島島の内陸部に囲まれた錦江湾の北部に当たり、始良カルデラといって、およそ 2 万 6 千年前の火山噴火の後だといわれています。

ここは、地球でも重要なボルテックスの一つですが、このボルテックスの働きを封印するために、大きな抑圧のエネルギーが存在します。

つまり愛のエネルギーに繋がり、人々を幸福にするはずのボルテックスが、怒りや不満の闇のエネルギーに繋がれ、鹿児島に住む人達を抑圧しているのです。

特に女性に対する抑圧や支配のエネルギーが大きく、この場所のエネルギーを開放していくことで、地球に住む多くの人々に対してもすくなくならず影響があるようです。

私達は、この始良カルデラの下に大きな闇のゲートを見つけました。

このゲートは創造主だけでなく、物理世界の守護をおこなう天狗族や明王たちにも手伝ってもらい、このゲートを開いて光を送ります。

するとそこに待ち構えていたのは、神戸セミナーで処理した情念の女神の物理世界の姿でした。

これらの存在は基本的にスピリチュアルな存在なのですが、物理世界の人々に対して大きな影響力を与えるために、自分のエネルギーの次元を上げて、物理世界の近くに自分の分身をたくさん作り、そこから人々を操る

事が多いようです。

そして、彼らを取り締まるマスター達が来ると、マスター達に見つからないように、人のスピリットの中や、ゲートの中に隠れていることがよくあります。

ゲートというのは、その存在や特別な世界に繋がる通路の事です。

通常は、誰でもが自由に入れないようにゲート（門）で閉じられており、必要に応じてその門が開き、奥にいる存在が外の世界に出てきたりします。

彼らを見つけるためには、その存在が関与している人や場所の中にある特別なゲートを見つける必要があります。

私達は、日本各地をセミナーで回ったのは、その場所の物理的な次元に自らの身を置き、自分自身の肉体的な意識やスピリットを通して、これらの存在とつながるゲートを探しだす必要があったからです。

そして、ゲートが見つかる「完全なるゲートの創造主」にお願いしてゲートを開いてもらい、創造主達の光をそのゲートの中に流し込むことで、その存在の姿を明らかにしていきます。

そして、その存在の性質にもよりますが、この宇宙の中の存在であれば、「完全なるすべての世界の創造主」達にお願いして光に返してもらおうか、「祝福の創造主」にお願いしてその存在にふさわしい世界へ移動させてもらいます。

しかしその存在が、他の宇宙からきた闇の創造主の系列の物であれば、「完全なる根源の創造主」にお願いして、元の世界に返してもらおう事となります。

私達が、最初に見つけたのは、この始良カルデラの下に大きな黒い渦巻きの様なエネルギーを作り出していた存在で、情念の女神の物理次元の存在に当たります。

彼女は、鹿児島地区の人々を抑圧し、全ての人々が満たされないようにしている存在です。

この存在の影響によって、鹿児島の人達は、自由に行動する事や考える事、自分自身を表現する事を抑えられてきました。

女性や立場の弱い人々は、男性や力を持つ人々によって傷つけられ抑圧され続けて来たのです。

また、女性たちもそのことを受け入れ、男性たちに従って犠牲となってきました。

今までは、そのことも必要だったかもしれませんが、これからの時代は一人一人の人格を認め、自由に考え、行動していかなければならない時代となります。

私達はその存在を捕え、光に返していきます。

これからアセンションしていく世界では、このような抑圧や支配はまったく不要となります。

次に私達が見つけ出したのは、私自身のスピリットの深い部分に隠されたゲートから見つけ出した存在です。この存在は、スピリチュアルの能力を持っている人を抑制することを目的に活動していました。

つまり、スピリチュアル的に優秀な能力を持つ人々、特に原住民やシャーマン、神官、巫女、霊能力者など、見えない世界を見ることが出来る人々、神々の声を聞き、それを伝える能力を持つ人達の能力を奪い、子孫が生まれないようにする存在です。

このエネルギーは、私達にも深く関わっていましたが、今までは地球がアセンションの流れに入っていなかったために、見つける事ができませんでした。

この存在は、今までの学びの地球においては非常に重要な働きを持つ存在でした。

それは、地球を闇の多い世界に保つために、この地球に大きな光をもたらす役目を持つ人々を排斥しなければ

ならなかったからです。

それは地球が、学びのための場であるためには必要なことだったので。

そのために、私自身もこの存在から制限を受けていました。

しかし、私達がこれから生きていく地球は、今までの学びの場であることをやめ、光の世界にアセンションすることを決めた地球ですので、このスピリチュアルな能力を抑制する存在は不要となったのです。

私達が、この存在を見つけ出したという事は、これからの世界には必要ではない存在なので、処理してもよいという事なのです。

私達は創造主にお願いして、この存在も光に返してもらおうと共に、この存在によって捕えられた多くのスピリット達を探しだし、解放していくこととなりました。

そうすることで、これからアセンションしていく世界では、多くの人達が自らのスピリチュアルな能力を目覚めさせることが容易となるでしょう。

そして、この地球の各地に隠れ住むシャーマンたちの活動が活発となり、さらに地球のアセンションが進むことでしょう。

### PART3 闇の黒幕「全ての闇を創造する創造主」

2015年も最後の人になった12月31日、私達はずいぶん光の創造主と地球の闇の創造主達がずっと探し続けていた存在を見つける事ができました。

其れが、「全ての闇を創造する創造主」です。

この創造主は、完全なる根源の創造主が、この宇宙の創造主を成長させるために、あえて連れてきた創造主で、殺戮の創造主、愛を分離させる創造主、抑圧と支配の創造主などのボス的な存在です。

全ての混乱と人々にとって大きな障害となる闇のエネルギーの根源といってもよい存在です。

私達の宇宙の創造主は、誰一人としてこの創造主を抑え込める創造主はなく、彼らのやりたい放題だったようです。

そのために、この地球が、争いや抑圧、支配、暴力、欺瞞などに満ちあふれた世界となってしまったのです。創造主達に大きな緊張が走ります。

大天使やファラオ、騎士団たちも出てきて厳重な体制を取ります。

創造主の連合軍と「全ての闇を創造する創造主」の間で、大きな争いが始まります。

余りにも巨大な敵に、創造主の連合軍もてこずってなかなか捕まえることができないようです。

私は、別の宇宙から闇の創造主を連れてきた「完全なる根源の創造主」にお願いして、この「全ての闇を創造する創造主」を、アセンションする世界から切り離してもらおう事にしました。

「完全なる根源の創造主」も、アセンションする世界では「全ての闇を創造する創造主」の必要もなくなるので、彼をこの世界から切り離してくれることに同意してくれました。

大きな光が「全ての闇を創造する創造主」を取り囲みます。

彼の姿がこの世界から少しずつ消えていくようです。

私は、完全なるゲートの創造主や陰陽の統合の創造主達に頼んで、「全ての闇を創造する創造主」の周りにあ

るゲートをひとつ残らず開いていきます。

これは「全ての闇を創造する創造主」が、彼が捉えた存在を閉じ込めている場所や彼が作り出した世界がたくさん隠されているために、これらのゲートを開いて、そこに捕えられた存在達のスピリットを助け出さなくては行けないからです。

このような存在は、普通の人達にはあまり興味がなく、光の世界を作っていくために必要な存在やこの地球にやってきた地球外生命体達、特殊な能力を持つ人、あるいは天使やフェアリーなどの特別な存在達ばかりを探し出して、そのスピリットを捕えます。

それは、彼らをコントロールして自分に都合の良い世界を作るためなのです。

いくつものゲートを開くと、予想どおり、地球の少数民族やシャーマン達をはじめとする人間、叡智を持った地球外生命体達やフェアリー、天使族たちも捕えられています。

もちろん、私達や一部の創造主、マスターのスピリットの一部もここに囚われています。

しかも、彼が捉えていたのは、スピリットの中でも、もっとも重要な部分であるスピリット自身の生命力となるエネルギーです。

このスピリットの一部が捉えられることで、私達は自分の能力を最大限に発揮することができなくなります。

私達は、「全ての闇を創造する創造主」が持つゲートを次々と開いて、そこに囚われていたスピリット達を開放していきます。

おそらく、今までになく長い時間がかかったことと思います。

私達も、半ばトランス状態に入り、自らのスピリット達にその仕事を委ねていました。

多くの創造主達が放つ光とエネルギーによって全身が熱くなり、意識も遠くなる中、多くのスピリット達が、ゲートから天使達にいざなわれるように解放されていく様を見ていました。

この解放されていくスピリット達こそ、地球のアセンションにとっても、重要な役割を果たす存在達です。

スピリット達の解放が終ると、「完全なる根源の創造主」がにこやかな顔をして、私達に語りかけます。

「これで地球のアセンションを阻むものはほとんどいなくなりました。

これで、皆さんの物理世界をもっときれいにしていくことができるでしょう。

本当にご苦労様でした。皆さんの働きに深く感謝します。」

2015年の最後の日、私達は、地球のアセンションのために、地球のスピリチュアルな世界を操っていた黒幕をかたづけることができました。

これで地球も大きく変わっていくことでしょう。

#### PART4 精霊とシェンロン達の囚われの場

私達が、「全ての闇を創造する創造主」を、別の次元に移し替えた後、私達を包む地球の波動が大きく変わっていきました。

この12月28日からの3日間、地球を覆っていた闇のエネルギーの解放と地球の浄化を続けて来たことで、地球のエネルギーが1日ごとに、見違えるように変化していきます。



ところが31日の夕方ころから、私達の周りを暗く重たいエネルギーがうごめいていきます。私達は、意識を切り替え、何が起きているのかを調べると、たくさんの弱り切って輝きを失ったドラゴンやシェンロン達がたくさん見えてきました。私は驚いて、創造主にこのシェンロン達はいったいどうしたのかと聞くと、先ほどの「全ての闇を創造する創造主」を片付けたことで、彼が閉じ込め、その力を奪っていたシェンロン達の封印が解け、その姿を現すことができるようになったのだという事でした。

「全ての闇を創造する創造主」が閉じ込めていたのは、叡智ある存在達や創造主のスピリットばかりでなく、この宇宙を構成し、世界を維持する働きを持つシェンロン達も、自らの世界の中に閉じ込めていたのです。私達は、すぐに高次の世界のシェンロン達や創造主達を呼び寄せます。そしてシェンロン達によって特別な龍の紋章を描いてもらい、閉じ込められて弱り切ったシェンロンやドラゴン達を助け出すことにしました。

龍の紋章が輝き始める、この空間全体に大きな光が満ち溢れ、シェンロンやドラゴンを光で包みます。高次のシェンロン達や宇宙中から集まってきたたくさんのドラゴン達が、彼らの上を旋回しながら、金粉を降らせていきます。シェンロンやドラゴン達は、自分の仲間を癒したりパワーアップさせるときは、いつもこのような光のエネルギーを相手の上に降らしていきます。そして、その光のエネルギーが、弱ったドラゴン達の中に吸い込まれていくと、ドラゴン達の体が輝きを取り戻し元気になっていくのです。

シェンロンとドラゴンは、地球だけでなくこの宇宙にとってはなくてはならない存在です。彼らの役目は、この宇宙の創造のエネルギーそのものです。この宇宙を創る様々な物質的エネルギーの基礎といってもよいかもしれません。私達はその中で、この天の川銀河を越えたレベルで働くドラゴン達を通常のドラゴンと区別して「シェンロン」と呼んでいます。あるいは、宇宙の創造と深く関わる働きや叡智を持つドラゴンを「シェンロン」と呼んでいます。シェンロンも普通のドラゴンも基本的に同じ目的のために働いています。

シェンロンやドラゴン達は、今まで封印されていたことで奪われていた力を取り戻し、どんどん元気になっていきます。眼の輝きも元に戻り、体全体も光を得て輝き始めます。私の中には、ドラゴンと深くつながるエネルギーがあり、彼らの生命がよみがえってくるにつれ、私の中にも歓喜の感情が流れ込んできます。

元気になったドラゴン達が、仲間誘われるようにして、自分が本来果たすべき役目をするために、この場から飛び去っていきます。

私はこの光景を見ながらもう一つ気になったことがあります。それは、私達ととても近い関係にあるマスターが常に願っていたこと、「精霊たちの解放」です。ドラゴン達が、これだけ捕えられていたとすれば、自然界の精霊達、フェアリーやホビット、マーメイド、ユニコーン達もどこかに捕えられているはずで

「完全なるゲートの創造主」とトート族たちをお願いして、精霊たちが閉じ込められている世界へ通じるゲートがないか探してもらいます。

しばらくすると、闇の中に隠されたゲートが見つかりました。

全てのゲートを開く能力を持つ「完全なるゲートの創造主」がそのゲートを開き、創造主達とともに、その世界の中に入っていきます。

ゲートの奥にある世界は薄暗く、深い闇の中に沈んだままです。

創造主達の光によってこの世界を照らし出すと、そこには幾多もの精霊やフェアリー達が闇におびえながらうずくまっています。

彼らはどれほどの長い時間を、この闇の中で過ごしてきたのでしょうか。

精霊達の心は傷つき、絶望感に支配されたまま、自らの生きる目的も自由も失っています。

「全ての闇を創造する創造主」によって、彼らは捕えられ、本来あるべき地球を作ることを許されずに閉じ込められていました。

そのために地球は自然を破壊され、多くの動物や植物たちが絶滅の道を歩んでいったのでしょうか。

そして子供達に夢を与える存在達も少なくなり、この地球から自由と希望、喜びが失われていきました。

創造主やフェアリーの女神と多くのフェアリー達、自然界の精霊やシェンロン達もたくさん集まってきました。そして傷ついた精霊やフェアリー達に癒しの光を送ります。

精霊達が優しい光に満たされると、さらに多くの精霊達がやってきて意識の共鳴を始めます。

精霊やフェアリー達は光に満たされ、どんどん目覚めていきます。

そして、目覚めた精霊達から、仲間と共に、この世界から飛び立っていきます。

全ての精霊達が目覚めるには、もう少し時間がかかりそうですが、彼らは新しい光の世界を守護する大切な存在ですから、きっと新しい世界にやってきてくれることでしょう。

アセンションしていく世界にとって、ドラゴン同様精霊やフェアリー、マーメイドやユニコーン、ペガサス、ホビット達はなくてはならない存在です。

彼らは、私達が持っていない知恵や力を使って世界をより豊かなものにしてくれます。

彼らは、私達だけでなく、この地に存在する多くの動物や植物達、目に見えない存在達のために大いなる守護者となってくれることでしょう。

これで、地球のアセンションに向けて大きな準備が始まったと言えます。

明日からの2016年どのような世界が待っているのでしょうか。

## 第7章 2016年 原住民族のスピリットの解放

### PART1 地球のシャーマン 隼人族の解放

2015年最後の日に、闇の世界の黒幕である「全ての闇を創造する創造主」を探しだし、アセンションしていく世界から他の次元に移した後、閉じ込められていたドラゴンと精霊達を救い出すことに私達は成功しました。これで、地球はアセンションへの大きな障害をのりこえ、とても大きな進歩を遂げる事となったのです。

2016年の最初の日、雲ひとつない澄み渡った青空が広がりました。降り注ぐエネルギーはとてもやわらかく、まるで一晩で新しい地球に生まれ変わったかのような変化です。私達はうれしくなり、家の近くを散歩し始めました。澄み渡った空気の中で、鳥がさえずり、新しい世界の始まりを告げていきます。

私達はしばらく歩いていくと導かれるように、古い街並みの中を進んでいきます。そしていくつかの場所に光を送りながら、最後に小高い山の頂に立つとある神社に導かれました。静謐として、苔むした地にたたずむ神社は、神聖な大地のエネルギーに守られ神聖な気配さえも感じさせるものでした。

私達が神社に入ろうとすると、創造主が、私達の行く手を遮り、まずこの神社を霊視するように言います。私達が霊視すると、この神社の奥に大きな闇のゲートが広がっています。その奥にいるのは、なんと「殺戮の創造主」の現実世界でのエネルギー体です。私達は、とても神聖そうに見える神社が、「殺戮の創造主」という正反対のエネルギーに繋がっていたことに驚きます。

すぐに天狗族、明王族、そして創造主達を呼びだし、このゲートから繋がる「殺戮の創造主」に光を送ってもらいます。おそらく、この神社だけでなく、この系統のすべての神社にも「殺戮の創造主」のエネルギーが入り込んでいるものと思われます。私達は、「完全なる根源の創造主」にもお願いして、この存在をアセンションしていく地球から別の世界へ移し替えてもらいます。

私達は、「殺戮の創造主」のエネルギーがこの神社から消え去ったことを確認してから、苔むした道を歩き、結界を張るように、両側に規則正しく立ち並ぶ樹木の間を抜け神社の前に立ちます。社殿の前には、この神社を守るかのように苔むした銀杏の老木が立っています。神社のエネルギーが消え去り、この土地本来の神聖な美しいエネルギーが戻ってきています。

神社の前に立ち、神社の由緒を見ると、なぜここに「殺戮の創造主」がいたかがわかります。ここは1282年に京都から来た人たちが築いたお城があったのですが、鹿児島島の島津家に責められて以来、度重なる争いの舞台となったようです。そして、ここに神社が建てられた後も戦勝祈願などがよく行われ、争いや殺戮とは切っても切れない関係があ

ったことがわかります。

日本のみならず世界中の宗教施設やそこに祭られている神様たちは、本来は争う事のない美しい世界を作りたかったのですが、私達人類が望むことは、自分達だけの繁栄であり、争いに勝つことや、自分達の利益を高める事ばかりでした。

そのような人間達の欲望を満たすために、神社の神々は殺戮を好む神々や他を支配したり抑圧することを得意とする闇の神々（創造主）へと移り変わっていったのでしょう。

それは決して、この山奥にある小さな神社だけの事ではなく、日本や全世界の神社や宗教的な施設でも同じように起こったことなのです。

しかし、話はそれだけでは終わりません。

私達が、この苔むした神聖なる場所で瞑想している時、隼人族の長老があらわれ、私達に語り掛けてきました。

「皆さん、この場所を開放して神聖なる土地に戻していただきありがとうございました。

本来この地は、隼人族にとってとても神聖な土地でした。

私達が、大地に対して強いきずなを持ち、大地に豊穡の祈りを捧げるための場所でもあったのです。

しかし、その後に来た人々達は、私達からそのような聖なる土地を奪い、私達の民族を根絶やしにしていきました。

私達は、物理世界からはその姿を消しつつありますが、この地に生きる人々の魂の中に生き続けています。

私達が、この神聖なる場所に戻ることができうれしく思います。」

隼人族の人達が次々と現れ、苔むした山の頂で、喜びの踊りを輪になって踊っています。

この神社を裏で操っていた「殺戮の創造主」や闇の創造主達を、この場所から浄化したことによって安らかなエネルギーがこの地に戻ってきました。

そして、本来あるべき存在達が、喜びをもって戻ってきてくれたのです。

それは近くに住む私達だけでなく、鹿児島、九州、そして日本の、これから光に向かう人々にも大きな影響を与えていくことになるのです。

隼人族という、この地球の意識と深い共鳴感を持つ民族、シャーマン、巫女たちの存在について、私達はこれから大きな学びをおこなうこととなります。

## PART2 アセンションの担い手 原住民族とアセンションしていく人々

私達は自宅に帰って一休みしていると、とてもパワフルなエネルギーが、サードアイを中心として流れ込んできている事に気づきます。

これはいったい何のエネルギーであるのかと創造主に尋ねると、この地球の一部を今までの地球から分離させていくためのエネルギーであると答えてくれました。

私達は、28 日ころから急激に強くなったエネルギーや大きく変化してく地球の状況に対して、本格的なアセンションが、ついに始まったことに気づきました。

それは、今までとは比べ物にならないほどに強いエネルギーですが、私達は、その理由について尋ねました。

「それは、あなた方が、隼人の神聖な土地を闇の創造主から解放してくれたおかげで、この土地に、大きなア

センシヨンのためのポイントができました。

本来原住民族は、この地球の意識と深く関係を持つ神聖な人々です。

それがたとえシャーマンや巫女でなくとも、原住民族の人々は、皆さんが地球の意識と深くつながり、地球に対する愛と感謝の気持ちを常に捧げています。

そのような純粋なスピリットを持つ人達が、自ら光の地球にアセンションしていくと共に、これからアセンションしていく地球をどんどん引っ張っていくのです。

あなた方がお住まいの場所で、まずそのことがなされました。

地球のアセンションを妨げている闇のエネルギーや人々の抑圧のエネルギーが消え去り、地球はとても身軽になりました。

そして、その土地に根ざした先住民族のスピリットが解放され自由になることによって、人間の意識としてのアセンションが行われ、地球のアセンションを牽引することになりました。

この2つがそろそろ事により、あなた方が住んでいる場所に、アセンションの大きなエネルギーが流れ込むことができたのです。

このエネルギーは、あなた方の体を通して、地球の物理世界にどんどん流れこみ、この地球のアセンションに向けて大きな働きをすることでしょう。」

さすがに、このアセンションのエネルギーはとてつもない強さを持っています。

私達の肉体にもはっきりとわかるほど、大きなエネルギーのうねりを作りながら、私達のサードアイから入り足元へと抜けていきます。

そしてどんどん、地球の中に流れ込んでいっている感じがします。

アセンションと原住民族の関係について少し説明しておきましょう。

私は良く、地球のどれだけの人達がアセンション出来るのですか、と尋ねることがあります。

その時、創造主は、おそらく3割くらいの人達がアセンションしていきだろーと言います。

私は3割と聞かされて、私達の10人の内3人もアセンション出来るのかな、とうれしく思ったことがありますが、本当はそうではないようです。

つまりアセンション出来やすい人達とアセンションしにくい人たちがいるのです。

何度も言いますが、アセンションとは、闇の多い地球の中で、光の存在達や純粋な意識を持った人達が、学びのための地球から、光の地球へと移り変わっていくことです。

つまりアセンションしていく人々は、光の存在か純粋な意識を持った人々、地球の学びから卒業していく人々に限られてきます。

そのためにお金儲けに躍起になっている人や他人と争いたい人、他人を支配したり抑圧したい人、欲望に任せた生活をしている人は、まず学びの世界に残ることになりますので、このような人がアセンション出来る可能性はかなり低くなります。

其れではどのような人達がアセンションしていくのかというと、創造主はまず原住民や素朴な少数民族からアセンションしていくと言われます。

それは、彼らが、地球の民族としては純粋な地球民族であり、地球の意識と深く共鳴しているからであり、常に地球に深い祈りや感謝を捧げてきたからであると言います。

もちろん原住民族でも、お金儲けや他人を支配することを喜びと考える人はアセンションすることはできないかもしれませんが、彼らの多くは都市部に住む普通の人々よりも、より純粋でエゴに囚われない生活や生き方を今でも保ち続けています。

また、彼らのさらに先祖に当たるような、より高次の意識を持つ人達も少なからずこの地球には存在しているようです。

彼らはもうすでに、地球の物理次元とは少し異なる場所に存在していますので、皆さんの目には見えませんが、その存在も明らかになることはないでしょう。

しかし、そのような人達は確実に存在し、見えない世界で私達を導いてきたのです。

今回私達をサポートしてくれている天狗族やファラオ達もそうかもしれません。

彼らは、マスターとして地球に残り、この地球が破滅しないように、私達を導いてきました。

しかし、今回のアセンションを迎えることで、彼らもこの地球を離れることでしょう。

また、この地球に様々なことを学びに来た地球外生命体達や地球がアセンションをおこなうために宇宙からサポートに来た人達、現実世界の近いところにいるマスターや天使、フェアリー達もこのアセンションによって、本来いた世界へと戻っていくこととなります。

そのような人々が地球の2割近くいるかもしれません。

そうする現代人に残された枠は、かなり少なくなりますね。

アセンションと騒いでいる人達が、まったくアセンション出来ないという事もあり得るかもしれません。

もちろんすべての人がアセンションをおこなう必要はありません。

まだ学びが必要な人や自分の意識を高めることに興味がない人は、今までの地球に残らなければなりません。

しかし、自分のスピリットがアセンションする必要があると考えている人は、きっとアセンションするための準備が始まっていることでしょう。

もちろんあなたがそれに気づき、努力をしなければ、アセンションはあなたの傍らをすり抜けていってしまいます。

### PART3 アセンションを担う原住民族の役割

デバインライト・ヒーリングのセミナーが鹿児島で行われ、地球のアセンションもドンドン進んでいきます。しかしその反面、アセンションを妨害し、アセンションしていく人達の行く手を妨げるような事も数多く起きてきました。

私達は、セミナーを通して、そのような障害を取り除き、地球のアセンションのために努力していますが、次から次に新しい問題が浮上してきます。

今回はこのことをお知らせしなければならないのですが、その前に、セミナー中に原住民とアセンションの関係について創造主達からメッセージを頂きましたので、この問題についてもう少し話をしていきたいと思っています。

地球に住む原住民の方達は、本来この地球を守護し、地球の繁栄と成長を担うための存在でした。

彼らは、地球の意識と一つになり、地球に行き多くの生命達、中でも動物や植物たちと意識を交流させることで、地球に行き多くの生命達の連帯感を高め、地球を繁栄へと導いてきました。

地球に行き多くの動物や植物たちは、特別な役割と力をもってこの地球に存在しています。

神聖な動物達は、アメリカ・インディアンやアイヌ民族の宗教儀式にもみられるように、人類にとってパワーアニマルや神聖な導き手としての役割を担っています。

地球に行き人々と神聖な動物や植物たちは、共に協力し合って、地球を光に満たしていたのです。

このことは、地球を光の世界へと導くためには、無くてはならない事です。

また、彼らは、地球がきちんとアセンション出来るように、地球に生まれてきた特別な人々や地球以外の星から来た人達に、地球での生き方を教え、その力と資質が十分に発揮できるように導いてきました。

たとえば、霊的な能力が目覚める時に、人々は一時混乱状態になりますが、沖縄のユタやアイヌの人達は、其れが霊的な覚醒であることを知っていたため、覚醒を促すための原住民族独自の 방법으로、しっかりと対処してきました。

しかし現在、原住民族が一般の人と触れ合う事がなくなってきたために、そのような覚醒状態にある人達をきちんとサポートすることができなくなり、彼らは、精神科の診断を受け、精神障害やパニック障害などと呼ばれることとなるのです。

しかし現代医学では、この事に対処することができませんので、薬物によって精神を鎮静させ、その症状を抑えることを行い特殊な精神病の病棟に収容して、彼らの自由と覚醒を奪ってしまいます。

本来、地球を光の多い世界に導くために降りてきた存在達も、このような環境の中で、自由に活動することもできず精神病患者として不遇な人生を送らされる場合もあります。

地球の原住民族は、かつてはこのような人達を受け入れ、また自分の民族の中に生まれさせることで、霊的に覚醒した人達を多く生み出し、地球のアセンションを担う予定だったのです。

彼らは、このほかにも、儀式や日常的な祈りを通して、地球と地球に行き人々を成長させアセンションさせる方法を、先祖代々語り継いできました。

しかし、地球を統治する存在達は、地球の様々な場所に住む原住民の人達を、宗教的・文化的な理由で弾圧し押さえつけてきました。

時としてそれは、通常考えられないような悲惨な結果を生み出してきました。

地球を統治する人達は、自分達の欲望のために、多くの純粋で光あふれる素朴な原住民たちを抑圧し、その人数を減らしてきたのです。

そして、地球がアセンションしていく事を妨げるために、原住民族を弾圧し、正しいアセンションの仕方を知る者を減らそうと考えたのです

地球のアセンションの正しい方法を知る人達は、昔に比べ大きく減ってしまいました。

今、現在、地球がアセンション出来るために必要とされるギリギリの数の原住民しか残っていません。

地球がアセンションすると決められた時に存在していた原住民族の半分以下の人々しか、現在生き残っていないのです。

光の創造主は、地球に残された原住民族の方達を中心に、この地球をアセンションさせることを決めました。

そして、原住民の人達をサポートするために、たくさんの光の存在をこの地球に送り込み、彼らと力をあわせて、地球をアセンションさせる事になったのです。

原住民族の人達は、地球がアセンションするためには、無くてはならない導き手です。

アセンションが完了するまで、この大切な原住民の方達を守っていかなければなりません。

そして、抑圧された原住民族のスピリットを開放し、この地球に光をもたらさなければなりません。

特にスピリチュアルに興味を持たない人でも、地球を長年守ってきた原住民族の方達に感謝と守護の祈りを捧げるだけでも十分です。

これからの光の世界を導き、作り上げていく人達なので、私達はしっかりと見守り、感謝の気持ちをもっていきましょう。

#### PART4 ハウステンボスと審判の創造主

1月の22日・23日、私達は創造主達とともに、長崎のハウステンボスに行き、地球の物理世界に制限を加える最後の大物の処理を行っていました。

先日の鹿児島セミナーで出てきてくれた最高次元の大天使ミカエルに加え、最後はこの宇宙のすべてを決定すると言われている「審判の創造主」まで出てきてくれました。

この青き叡智の光を宿した審判の創造主によってこの地球と地球に行きける生命達は、自分が行くにふさわしい世界へと振り分けられていくようです。

この地球は、これからいくつもの世界に分かれて存在していきます。

光が多く愛と豊かさが満ち溢れている世界もあれば、争いや抑圧の中で成長のために学びを続ける世界もあるでしょう。

今までは、様々な世界がすべて一つの地球の上に存在し、異なる目的で生きる人も、同じ地球の物理世界に生きていました。

しかし、地球は、アセンションの道を選び、私達も創造主達とともに、地球のアセンションを阻む存在や大きな障害となるものを処理してきました。

その最後の集大成とも呼ぶべきものが、ハウステンボスの旅行中に解消されていきました。

オランダのお城を基にして作られたパレス・ハウステンボス、そしてスリラーシティのいくつもの催しの中に隠された様々なゲートのエネルギー、そしてハウステンボスで働く音楽家やスタッフ、ハウステンボスに来る人達に隠された抑圧のエネルギーなどをいくつも処理してきました。

私達が、ハウステンボスの物理的な世界に関わることで、私達をとおして、創造主やマスター、光の存在達が、隠されたゲートを探しだし、そのゲートの奥にある世界に光を与えて、光に変えていきます。

ただしこれらのゲートは、ハウステンボスだけにあるのではなく、日本や世界の各地にあります。

特に経済や政治、商業などの中心地には必ず開いていると思われます。

ただしゲートの奥にいる存在や世界は共通なので、一つのゲートを通して、その世界と存在を処理することで、他の場所に開いていたゲートも解消できることとなります。

しかし、それも「光の世界に向かう地球」という限定つきです。



まだ、この地球で多くの学びを必要とする人達の世界には、相変わらずこのゲートが残っていますので、抑圧のエネルギーにコントロールされる日々を送らなくてはなりません。

そして、地球を光の世界にアセンションするために、どうしても対処しなければならない闇の存在が、私達を待ち構えていました。

其れも、ハウステンボスでの2日間を楽しみ、帰りの電車に乗るために、ハウステンボスの駅に向かっている時でした。

最後に現れてきたのは、「束縛の創造主」とでも呼ぶのでしょうか、お金や地位、支配欲などの様々な欲望をとおして、私達人類を捕え、束縛してしまう存在です。

この存在は、私達の興味のある一定の物に向け、そこに執着させることで、生きるパワーをどんどん奪い去っていきます。

そして、最後は私達を無気力にしてしまい、政治的支配者の言いなりになってしまうように仕向けてしまうのです。

この存在の働きによって、私達は精神的な自由を奪われ、仕事や生活習慣の中で、自分が望まない事柄に囚われてしまいます。

又望まない人間関係や習慣、肉体的・精神的な病気やトラブル、金銭的な貧困、カルマやトラウマによる精神的束縛などを受け続け、その状態から抜け出させないでいるのです。

この存在は、私達の社会の中でも、特に経済的・政治的に重要な立場にある存在達を捕え、この地球を制限が多い世界に作り上げてきました。

今の地球に行きける人の多くが、自分の意志とは無関係に自分の人生が束縛されて行くのは、このためです。

私達は、この「束縛の創造主」が出てきたことで、大きな肉体的ダメージを受けてしまいました。

ハウステンボス駅から、帰りの電車に乗る予定でしたが、美樹さんが足が痛くなり、駅へと向かう事が困難になってしまったのです。

今まで、私達を守護していたメンバーや創造主では、この闇の世界の最強とも呼ぶべき存在に対抗できず、困っていました。

私達は、痛みが押し寄せる体を引きずりながら駅に向かいます。

そして、私達を救い、この存在を処理してくれる光の存在の到来を待ちました。

そのようなときに、出てきてくれたのが、青い叡智の光を持つ「審判の創造主」です。

帰りの電車の中で、私達が冷静になるのを待って、その偉大なる創造主は現れてくれました。

この偉大なる創造主は、光の創造主達と闇の創造主達はもちろん、創造主達によって作り出されたすべての世界とすべての存在を、審判する存在です。

今まで、私達の人生をずっと見守り、私達の人生をとおして、地球と地球がかかわる宇宙、そしてそこに生きる多くの生命達を見てきました。

特に、地球がアセンションするにあたって、そのアセンションに様々な立場から関わる存在達を調べ、その存在達がアセンションに必要な存在か、否かを調べる立場にあります。

今回も、この「束縛の創造主」が私達に対して行う事をずっと見ていたようです。

それは、その存在が、どのようなことを考え、どのような行動をとるか調べるためでした。

そして審判の創造主が、地球のアセンションに必要ではない存在であると判断を下した存在は、光に向かう地球から、他の世界へと移されてしまいます。

それは、私達人類にとっても同じです。

その人のスピリットがアセンションをする時期ではないと判断されたときは、その時を迎えるまで、学びの地球でしばらく成長のための人生を送らなければなりません。

「審判の創造主」は、地球だけでなく、この宇宙にとっても大変に厳しい存在です。

しかし、「審判の創造主」が、「束縛の創造主」に対して、地球にとってはもう不要であると判断すれば、束縛の創造主は、次の瞬間には光に向かう地球からいなくなります。

もちろん「審判の創造主」は、そのように決断したようです。

其れまで、私達を襲っていた痛みが、スーと体から引いていきます。

私達は、この地球のアセンションを最後まで邪魔していた存在を、この光の地球から分離する事が出来たようです。

もちろん、束縛の創造主は、学びが必要な世界には、いまだ存在し、多くの人々に学びのための障害を与え続けますが、光に向かう地球には、不要であると決定されたようです。

私達は、その後、新幹線で鹿児島島に向かう間、地球のアセンションに対して、さらに多くの事を学ばされ、帰路に就くこととなりました。